

THAT'S

兵庫県印刷工業組合

冬号 NO.408

ザッツ・ひょうこ

HyoGO!!

Tajima, Harima, Awaji, Tamba, Settsu

2022.1

ザッツ マンガ

【第1話】『DXってな〜に?』

新連載

デジタルスタッフホーナーシヨウ
トビすつ



CONTENTS

- 1 巻頭言/年頭所感
兵庫県印刷工業組合 理事長/武部 健也
- 2 年頭所感(年頭挨拶)
齋藤 元彦 氏(兵庫県知事)
久元 喜造 氏(神戸市長)
滝澤 光正 氏(全日本印刷工業組合連合会 会長)
武部 健也 氏(近畿地区印刷協議会 会長)
蔵本 卓也 氏(兵庫県製本工業組合 理事長)
永井 敬裕 氏(兵庫県洋紙商組合 会長)
- 8 新年繁栄祈願祭・兵庫県印刷人新年互礼会
- 10 働き方改革セミナー
- 16 That's "Manga"
- 18 誌上新年名刺交換会
- 22 臨時総会
「SDGsセミナー」開催のご案内
- 23 働き方改革推進支援事業について
- 24 官公需対策委員会からのお知らせ
- 27 日本印刷個人情報保護体制認定制度(JPPS)の認定を取得

受賞の報告
●秋の褒章 黄綬褒章
●全日本印刷工業組合連合会表彰 組合功労者顕彰
●全日本印刷工業組合連合会
共済キャンペーン表彰 優秀工組
- 28 青楠会活動報告
- 30 行事ニュース
●印刷機オペレーター座談会
●SDGsセミナー
●印刷技術者セミナー
●印刷業界を知る1日体験会
●オフセット印刷作業技能検定実技試験
●Horizon Smart Factory 2021 バス見学会
●働き方改革セミナー
●紙断裁業務従事者特別教育
- 34 理事会報告(7月・10月・11月・1月)
- 46 組合日誌

編集後記

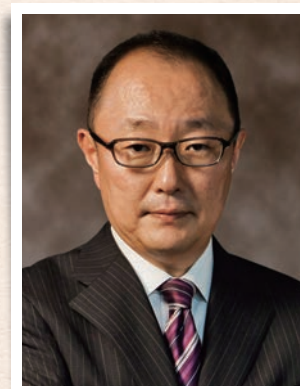


Introduction

KENYA TAKEBE

巻頭言

兵庫県印刷工業組合
理事長 武部 健也



年頭所感

新年あけましておめでとうございます。

令和4年、新しい年が始まりました。皆様方におかれましては、健やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より兵庫県印刷工業組合の運営並びに事業活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、ここ2年間に渡って世界で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、日本においては現在のところ小康状態となり、社会・経済活動も平常に戻りつつあります。

感染症の終息までは、まだまだ油断はできませんが、元氣な日本を取り戻す新年となりますことを祈念するものです。

ところで、コロナ禍において経営上の貴重な経験となった一つは、感染予防のために多くの企業が導入したテレワークや情報通信技術の活用ではないでしょうか。日本の一人当たり労働生産性は、世界の主要国の中で大きく劣る(日本生産性本部が発表した令和元年の日本の一人当たり労働生産性は、OECD加盟37カ国中26位)と言われて久しいですが、その原因の一つが、働き方改革や情報通信技術の活用が遅れていたからだと考えます。

つきましては、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」のではなく、コロナ禍で取り組んだ危機管理を今後の経営に生かし「災い転じて福となす」としていただくことを期待いたします。

一方、兵庫県印刷工業組合では、昨年9月に兵庫労働局から「働き方改革推進支援助成金」の交付決定をいただきました。これは、組合員企業の労働条件改善のために、時間外労働や賃金などの設定改善に向けて環境を整備する助成金です。

具体的に取り組む事業は次の4つで、②以下については本年3月頃報告いたします。

- ①働き方改革に繋がるセミナーの開催
- ②労働条件等の実態調査
- ③若年層に印刷業界をアピールする小冊子と動画の作成
- ④組合員が保有する設備や資材在庫などの情報を共有できるプラットフォームのシステム開発

これらの事業の成果が、組合員企業の働き方改革及び次代を担う人材の確保と育成に役立つ内容となるよう、担当役員一同は現在全力で取り組んでおりますのでご期待ください。

結びに、本年も兵庫県印刷工業組合へのご支援をお願い申し上げますとともに、皆様方にとって明るく素晴らしい一年になることを祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭 所感



躍動する兵庫、コロナを乗り越え未来へ

兵庫県知事 齋藤 元彦

新年あけましておめでとうございます。

昨年も新型コロナが私たちの暮らしに大きな影響を及ぼしましたが、県民・事業者・医療関係者の皆様のご協力により、第5波を乗り越えることができました。

しかし、感染再拡大のリスクは続きます。マスク着用、手洗い、「密」の回避など基本的な感染対策の徹底を引き続きお願いします。県としても、保健所や医療提供体制の強化、3回目のワクチン接種の推進など、対策に万全を期します。

同時に、「ワクチン・検査パッケージ」等も活用しながら、飲食、旅行、イベントなど、社会経済活動との両立も図っていきます。

さらに、今年はポストコロナ時代を見据えた取組を本格的に検討・推進する年とします。

その1つは、時代の潮流であるデジタル化やグリーン化の加速。デジタル技術を、働き方、教育、医療・介護、地場産業や農業など様々な分野で取り入れるとともに、再生可能エネルギーの導入拡大や水素の利活用などの地球温暖化対策に力を入れます。

また、少子高齢・人口減少社会への対応や、頻発化・激甚化する自然災害への備え、交流と日常生活を支える道路ネットワークの整備など、すべての県民の皆様が安心して、育ち、働き、暮らし続けられる、だれも取り残さない兵庫づくりを進めます。

大きなポテンシャルを持つベイエリアの活性化にも本腰を入れます。2025年大阪・関西万博は、兵庫に人・モノ・投資を呼び込む大きなチャンスです。更なる発展の起爆剤とすべく、ベイエリアプロジェクトの起動、万博の来場者を県内各地へ誘うフィールドパビリオンの具体化など、新たなチャレンジをしていきます。

もとより、こうした取組は行政だけでできるものではありません。民間との連携をこれまで以上に広げていきます。また、私自身が県内各地で地域の皆様と対話を重ね、地域の課題やニーズを新たな施策に繋げていく県民ボトムアップ型県政を推進します。

「躍動する兵庫」の実現に向け、飛躍の一年としていく決意です。

皆様のご理解、ご支援をお願いします。

年頭 所感



新年に寄せて

神戸市長 久元 喜造

新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

兵庫県印刷工業組合の皆様におかれましては、昭和33年4月の組合設立以来、長年にわたり兵庫県下の印刷業界の振興に取り組まれ、地域経済の発展にご尽力いただいておりますことに、心より感謝申し上げます。これからも皆様とともに、地域経済の発展を目指してまいります。

昨年秋の市長選挙におきまして、市民のみなさまからご信任を賜り、3期目の市政を担わせていただくこととなりました。私に課せられた責任の重さを常に胸に抱きながら、市民のみなさまからの期待にお応えできるよう、全力を尽くしていく所存です。

新型コロナウイルス感染症については、医療従事者のみなさまをはじめ、多くの事業者や市民のみなさまのご協力をいただき、この未曾有の危機に対処してきました。今後の感染再拡大に備えるために、医療提供体制とPCR検査体制の確保に努め、3回目のワクチン接種を安全かつ迅速に進めるとともに、コロナ禍で大きな影響を受けた市民や事業者に対するきめ細かな支援を展開するなど、引き続き、市民の命と健康を守り、神戸経済を回復させることに全力で取り組みます。

神戸のまちづくりについても、ウイルスの出現前からの課題である超高齢社会、東京一極集中はもちろん、とりわけ人口減少への対応に、強い決意と覚悟をもって取り組みます。都心・ウォーターフロントの再整備を着実に進め、拠点駅のリノベーションを行うことによって、バランスのとれたまちづくりを進めていきます。同時に、神戸が持つ豊かな自然環境を活かし、六甲山上スマートシティ構想や里山の保全・活用を進め、若い世代が集い、住まい、働き、多様な活動が展開されるまちをめざします。また、子育てや教育、孤独・孤立など各種施策の充実を図るとともに、世代を超えて市民がお互いに助け合う、人にやさしい地域社会の構築にも努めます。

神戸は、戦災や災害、阪神・淡路大震災など、幾多の困難を市民の力で乗り越えてきたまちです。これからも国内外に貢献し、市民が誇りをもつ神戸であり続けるために、『海と山が育むグローバル貢献都市』の実現に向けて取り組んでいきます。

みなさまには引き続き、神戸市政に対し、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ではありますが、本年がみなさまにとって、素晴らしい一年となりますことをお祈りいたします。

年頭 所感



新年のご挨拶

全日本印刷工業組合連合会 会長 滝澤 光正

あけましておめでとうございます。

旧年中は当連合会に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。本年も引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。

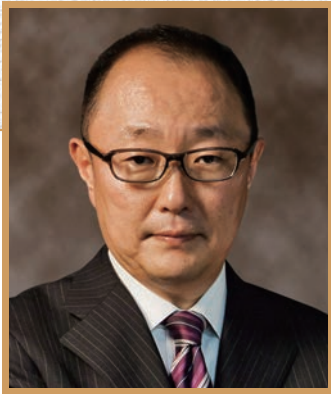
昨年は新型コロナウイルスの終息が見通せない中、当連合会でも、予定していた全日本印刷文化典長野大会の中止やCSRサミットの延期、各種会議・セミナーのリモート運営など、一昨年に引き続き難しい組合運営を強いられました。秋以降はワクチン接種が進み、感染者が減少し緊急事態宣言が解除されるなど、わずかながら明るい兆しが見えましたが、その一方で、原材料コストや物流費の上昇を理由として、印刷用紙をはじめとする印刷関連諸資材の価格改定が相次いで発表されるなど、中小印刷業界のみならず産業界全体において今しばらくは厳しい環境への対応を求められる年となりました。

このような状況の中、全印工連では生産性向上と高付加価値化を目指すDX事業について、組合員同士の生産連携をはかるためのDXプラットフォームシステム「DX-PLAT」の全国9地区におけるトライアルの実施、本格稼働に向けた具体的な制度設計の取り組み、各メーカーデバイスとのインターフェイス構築、システム改修とファシリティの整備など、着実な歩みを進めました。また、国際公約となった2050年カーボンニュートラルへ向けて、印刷産業全体のイメージアップを図り、併せて組合員各社の経営改善に資することを目的とする再生可能エネルギー事業への取り組みを決定するなど、新しい事業にも着手しました。このほか、幸せな働き方改革事業、環境労務対策、各種共済制度の加入促進、動画教育サイト「印カレ～全印工連の学んで得するTV～」の運営、CSR普及活動、官公需対策、事業承継支援など、共通の経営課題解決に努めてまいりました。

日々目まぐるしく変化する経営環境のもとではありますが、全印工連では今が好機と捉え、これまでの枠を超えたさまざまな角度と視点から新しいネットワークの構築と価値の創造を目指して諸事業を進めてまいります。しなやかで、そして力強い全印工連であり続けるために、本年も各都道府県印刷工業組合ならびに全国の組合員企業の皆様のご理解とお力添えを心よりお願い申し上げます。

本年が皆さまにとって明るい希望に満ちた素晴らしい一年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。

年頭所感



年頭所感

近畿地区印刷協議会 会長 武部 健也

新年、明けましておめでとうございます。

旧年中は近畿地区印刷協議会の活動に格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

近畿地区印刷協議会会長を拝命して2年目となる本年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大という難局に直面し、近畿地区印刷協議会定時総会・理事長会を人数制限のうえ、どうにか滋賀県で開催しましたが、全ての分科会はオンライン会議での実施となり、予定していた活動が大きく制限される事態が継続いたしました。

緊急事態宣言発令により人とモノの動きが大幅に制限され、飲食業など多くの業界で大打撃を受けました。それに伴い、あらゆる業界を顧客とする印刷業界も大変な影響を受けているのが現状です。一方で、コロナ禍を機に各分野のデジタル化が一気に進み、在宅勤務やオンラインによる事業の拡大など働き方や生活のあり方も多様化しました。これまで対面中心だったコミュニケーションはオンラインへの移行が進み、新たなネットワークやビジネス環境を生み出しつつあります。コロナ禍により社会全体の変化に拍車がかかる中、私たち印刷業界にとっても業界を大きく変えるまたとないチャンスであると考えます。従来からの事業運営や長年にわたる商慣習の非効率な部分を変え、社会に必要とされる価値を生み出す業界へと生まれ変わっていく良いきっかけにできればと思っています。

現在、全印工連では滝澤会長を中心に、次代に求められる印刷産業の進化、各社の付加価値の増大を目指し、効率の良いプロダクションによる収益拡大、ソリューションプロバイダーへのさらなる変革、人材の確保と育成からなる三位一体の構造改革を推進する事業を行っています。

近畿地区印刷協議会では、こうした全印工連の取り組みを各府県工組の会員企業にお伝えし、ポストコロナの時代においても印刷産業が「HAPPY INDUSTRY 人々の暮らしを彩り幸せを創る印刷産業」であり続けるために、各工組との連携、協力体制の一層の強化を図りながら、印刷産業の構造改革、そして組合員企業の力強い経営と持続的な成長・発展を目指して諸事業に取り組んでまいり所存でございます。

結びにあたりまして、本年も近畿地区印刷協議会の活動への変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭 所感



年頭のご挨拶

兵庫県製本工業組合 理事長 蔵本 卓也

新年明けましておめでとうございます。

皆様には健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃より兵庫県製本工業組合の事業活動にご理解とご協力を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

今私たちを取り巻く環境は決して恵まれた環境ではありません。歯止めのかからない人口減少、少子化、ペーパーレス化、そして一昨年から続く新型コロナウイルスの流行によりイベントの中止、旅行・飲食などの自粛などにより経済活動が停滞し、それに伴い各事業所様におかれましても大幅な減収となる等、大変苦悩を強いられる年が続いております。

緊急事態宣言が全面解除された9月を底として緩やかに回復基調が続いておりますが、コロナ前の水準に戻るまでには、まだ相当の時間を要すると思われまます。

県内中小企業においても新型コロナウイルスの影響がほぼ全業種に拡大しており、多くの事業者が国や県などの支援対策を活用しつつ感染防止対策を取りながら事業の継続と雇用の維持に取り組んでいる状況と思われまます。

当面は粘り強く感染防止対策に努めることが求められますが、ワクチンや治療薬の開発・実用化により、ようやく長いトンネルにかすかな光が見えてきたと言えますので、是非とも前向きにとらえつつ、本来の経済活動が戻ってくることを願うものです。

当組合も印刷組合様と共にこのコロナ禍という未曾有の難局を乗り越え、安定した事業活動が行えるようになることを第一に、このピンチで得た業界の弱点などを見つめ直して更なる成長ができるように引き続き全力で取り組んで参りたいと思います。

2022年が皆様にとって明るく希望に満ちた素晴らしい一年となりますように心から祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

年頭 所感



年頭のご挨拶

兵庫県洋紙商組合 会長 永井 敬裕

新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

組合員の皆様には輝かしい希望に満ちた新年を迎えられたことと存じます。

昨年一年間を振り返りますと、海外では米国で民主党のジョー・バイデン前副大統領が第46代米国大統領に就任いたしました。また、ミャンマーでは国軍のクーデターにより軍事政権が台頭し政権トップのアウン・サン・スー・チー国家顧問が拘束され、アフガニスタンでもイスラム主義勢力タリバンが首都カブールを制圧し実権を掌握しました。

一方、日本国内においては自由民主党総裁の菅首相の任期満了に伴って実施された総裁選において、岸田第27代総裁が選任され、第100代内閣総理大臣に就任いたしました。

また、延期になっていた2020東京オリンピック・パラリンピック開催も無観客ながら無事終えることができました。真鍋淑郎氏にノーベル物理学賞、大谷翔平選手がメジャーMVPに選ばれるなど嬉しいニュースもありました。紙パルプ業界におきましては、紙・板紙内需実績が今から約20年前の2000年3196万7000トンのピークから、リーマンショック・東日本大震災・さらに電子書籍等のデジタル化、そして、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響により約3割減となっております。この度、国内製紙メーカーは国内需要の低迷、原燃料価格の高騰、物流コストの上昇で年初から値上げを打ち出しております。このような逆風の中ではありますが、関西におきまして2025年国際博覧会(万博)の大阪開催に向けて発展することを願っております。

紙卸業の全国組織である日本洋紙板紙卸商業組合員各社では長引くコロナ禍により紙の使用量が激減し、今後とも生き残りが非常に厳しくなると思われませんが、紙業界に携わる一員として、これまで培ってきた知識と経験を十分に発揮し、この難局を乗り切っていきたいと考えております。今後とも『印刷業界の繁栄なくして紙パ産業の発展なし』を合言葉に貴組合との一層強力な礎を確立いたしたく努力してゆく所存です。

紙販売を通じ貴業界の発展に寄与するとともに、組合員の皆様には従来にも増したご指導ご支援をお願い申し上げます。また組合員企業の益々のご隆昌をご祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。

新年 繁栄祈願祭 開催

令和4年1月6日(困)



組合では、コロナ感染対策に万全を期して、生田神社拜殿内での新年繁栄祈願祭を二役常任理事のみで行い、コロナの早期収束ならびに組合員各社の繁栄を祈願いたしました。

兵庫県印刷人 新年互礼会 開催

新春恒例の新年互礼会が、去る1月6日(木)午後5時から神戸ポートピアホテル「大輪田」において、開催されました。兵庫青年印刷人「青楠会」会長水落翔氏の司会進行でセレモニーが始まり、始めに兵庫県印刷功労賞(水落充氏・磯田弘子氏・高木克彦氏・吉岡正城氏)贈呈式、黄綬褒章受章(水落充氏)顕彰状贈呈式が行われ彰状と記念品が手渡された。引き続き、武部理事長の年頭挨拶の後、来賓を代表して、衆議院議員の関芳弘氏・藤井比早之氏、兵庫県議会議員の戸井田祐輔氏、全日本印刷工業組合連合会副会長の浦久保康裕氏から祝辞を頂き、近畿地区印刷協議会副会長の笹原あき彦氏の発声で乾杯が行われ、県・市関係団体、上部団体、金融機関等のご来賓及び関連企業、各組合員のコロナ感染対策には万全を期してのご歓談・ご交流がはかられ、藤塚副理事長の中締挨拶をもって閉宴となった。



❖ 年頭挨拶 ❖



武部理事長

❖ ご祝辞 ❖



関芳弘氏(衆議院議員)



藤井比早之氏(衆議院議員)

❖ 閉宴挨拶 ❖



藤塚副理事長

❖ ご祝辞 ❖



戸井田祐輔氏(兵庫県議会議員)



浦久保康裕氏(全日本印刷工業組合連合会 副会長)



笹原あき彦氏(近畿地区印刷協議会 副会長)の発声で乾杯

❖ お披露目 ❖



兵庫青年印刷人「青楠会」会員

❖ 兵庫県印刷人表彰式 ❖



右から、水落充氏・磯田弘子氏・高木克彦氏



《働き方改革セミナー》令和3年10月22日(金)

withコロナ時代の“働き方改革”とは？

特定社会保険労務士 北井 一行

セミナーの目的とねらい

最近では、オンライン会議、時差出勤、テレワーク(在宅勤務、サテライト/コワーキング、ワーケーション等)が普及するなど、新型コロナウイルス感染症の予防を契機に、「withコロナ時代」として、働く人々の生活様式が変化しています。更に、日本が抱える大きな問題として、今後は人口の減少・少子高齢化が進み、労働力確保のために過重労働の解消や様々な対応を企業が主体的に行う必要があります。具体的には、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた、長時間労働の抑制や年次有給休暇の取得促進のみならず、危険を伴う職場の改善、ハラスメントの起こり難い風土作りや、人が辞めにくい職場環境を作り上げていく取り組みが必要です。

そして、これらを労使の自主的な取組として実効あるものとするためには、2019年4月から本格スタートした「働き方改革関連法」の本来の主旨や法改正の内容を十分に理解することが大切です。

今回のセミナーでは、法令遵守だけでなく「働き方改革や過重労働解消の推進」「withコロナ時代における新しい働き方」を実現するため、3部構成で大切なポイントを解説致します。

【パート1】

何故、働き方改革？

■過重労働を正しく理解する

長時間労働や休日がとれないことが継続的に行われる「過重労働」が起こると、

- 現場の士気・組織力の低下
- 心身の健康度の低下
- 人材が定着しなくなる
- 書類送検・訴訟における損失
- 円滑なコミュニケーションが難しくなる

など、職場や従業員に様々な悪影響を及ぼします。(※①参照)

また、過重労働は

「身体的負荷を原因とした過重労働」

「精神的負荷を原因とした過重労働」

の2類型があり、具体的には

- 恒常的に行われる長時間労働
- 重たい荷物を持つ作業
- 危険を伴う等、体力負担の大きい作業
- 健康を害するような暑い、または寒い部屋での作業
- 成果主義に偏りすぎ、過度なプレッシャーと向き合う仕事
- ハラスメントにおける苦痛を伴う職場での仕事等が挙げられます。

図表1 週労働時間と満足度

(n)

■ 満足 ■ 不満 (%)

労働時間	(n)	満足 (%)	不満 (%)
50時間/週未満	1212	63.9	36.1
50時間～60時間/週未満	200	44.0	56.0
60時間/週以上	69	34.8	65.2

注：1週間の労働時間数別に見た労働時間に対する満足度。

図表2 年次有給休暇取得率と休暇に関する満足度

(n)

■ 満足 ■ 不満 (%)

取得率	(n)	満足 (%)	不満 (%)
0%	152	29.6	70.4
15%未満	199	38.2	61.8
15%～30%未満	279	44.4	55.6
30%～50%未満	243	60.5	39.5
50%～80%未満	312	63.1	36.9
80%～100%未満	91	69.2	30.8
100%	178	73.0	27.0

注：年次有給休暇取得率別に見た休暇取得状況に関する満足度。

図表3 週労働時間と主観的健康感

(n)

■ よい ■ まあよい ■ ふう ■ あまりよくない ■ よくない (%)

労働時間	(n)	よい (%)	まあよい (%)	ふう (%)	あまりよくない (%)	よくない (%)
50時間/週未満	1212	13.5	27.5	40.4	15.2	3.4
50時間～60時間/週未満	200	8.5	24.5	46.5	18.0	2.5
60時間/週以上	69	8.7	18.8	47.8	15.9	8.7

注：1週間の労働時間数別に見た自己の健康状態に対する意識。

①出典：厚生労働省・平成25年「従業員の労働時間と休暇に関する調査（労働者調査）」

■印刷業界における問題点

皆様の業界におかれましては、一般的に重たい印刷用紙を持ち上げる体力負担の大きい作業、労災リスクが発生しやすい機械の使用、体に有害な物質の使用、突然の短納期を迫られるプレッシャーが掛かる取引先からの注文など、職場を思い浮かべると思い当たる節がいくつかあるのではないのでしょうか？

■脳・心臓疾患における労災とは？

心身の健康面で気を付ける必要があります。厚生労働省のデータによると令和元年度脳・心臓疾患の時間外労働時間別(1ヵ月又は2～6ヵ月における1ヵ月平均)支給決定件数は、200件で内177件(88.5%)が時間外労働時間80時間以上で、労働時間との関係性が非常に高いデータがあります。

更に、2021年9月15日より、労災認定基準が20年ぶりに見直され、労働基準監督署での運用が既に開始されています。具体的には労働時間の長さ以外の負荷要因である「勤務時間の不規則性」として

- ・拘束時間の長い勤務
- ・休日のない連続勤務
- ・勤務間インターバルが短い勤務
- ・不規則な勤務・交替制勤務・深夜勤務

を考慮し、労働時間と総合した上で脳・心臓疾患の労災を認定する基準に見直されましたので、これに該当する職場では注意が必要です。

■精神障害における労災とは？

もう一つ、精神障害による労災の原因を理解するのも大切です。

- ・(ひどい)嫌がらせ、いじめ、または暴行を受けた
- ・セクシュアルハラスメントを受けた
- ・上司とのトラブルがあった

等、人間関係に起因するものが多いのが特徴です。

更にコロナ禍では、在宅勤務やテレワークが増えることで、仕事内容や環境が大きく変化し「心身症」や「うつ病」など、メンタル疾患に陥る労働者が増えています。(※②参照)

■強い会社を作るために

皆様の印刷業界の大変さを踏まえた上で申し上げますと、このような過重労働が続くことは、労働生産性や採用競争力を低下させるなど、様々な問題を引き起こし、企業を発展させる大きな障害になると言えるでしょう。

【パート2】

過重労働解消に向けた職場改善のポイント

■健康経営を目指す

継続的に事業場の労働環境などの改善を行い、健康で安全な会社をつくることは、非常に高く評価される時代が来ています。

理由は、前述の通りですが、職場の健康を重視した経営は働く人の満足度や生産性を上げ、最終的には企業業績に大きな影響を与えるからです。



②在宅勤務・テレワークが増えていることによるメンタル疾患に陥る社員の対応

そこで、過重労働の改善を成功させるために何が必要か？が重要になりますが、まず一番始めに行っていただきたいことは、「過労死や過重労働による健康障害を生じさせない」という方針を事業者が決定し、コンプライアンスマニュアル、イントラネット、社員大会・研修会、更には顧客や取引先に対しても表明することから始めてみましょう。企業方針の表明では、管理者を含めた全ての従業員の健康確保を最も重視しなければならないという「事業場トップの決意」を全員に周知することが重要です。そして、事業場トップの過重労働対策に対する方針は、過重労働を防止する企業風土をつくることを目標としましょう。

■コンセンサスが大切！

方針の決定には、従業員の意見を聴くことと、社内的な合意形成(コンセンサス)が重要となります。そして、方針を決定したら、文書等により全従業員に周知徹底します。

事実、人事労務担当者や産業保健担当者が勤務状況などを検討した上で方針をトップが決定した事業場では、過重労働対策が効果的に運用されている実績があります。

■PDCAサイクルを活用する

事業場における安全衛生水準の継続的な向上は、これまでの経験や勘に頼ることなく、POCAサイクルを活用し、一連のシステムとして活動を展開することが重要です。過重労働対策についても同じで、まず事業者による意思決定と方針の表明に基づき、過重労働対策の目標と推進計画を作成しましょう。

■PDCAサイクル活用のポイント

Plan(計画)：

- ①(50人以上であれば)衛生委員会の活用や、部署横断(例:業務改善委員会)のプロジェクトチームを発足させる
- ②例えば、全体実施が無理であれば総務部から実施する等、成功事例を作ることを優先し、その後に他の部署へ水平展開する
- ③原則、忙し過ぎる時期に新しい活動を行わない



Do(実施)：

- ①例えば、「時間外労働の時間・月80時間を70時間にする(1日30分程度の削減)」のように、スモールステップで行っても良い
- ②実施中、できる限り否定的・批判的な思考や言動に気を付ける



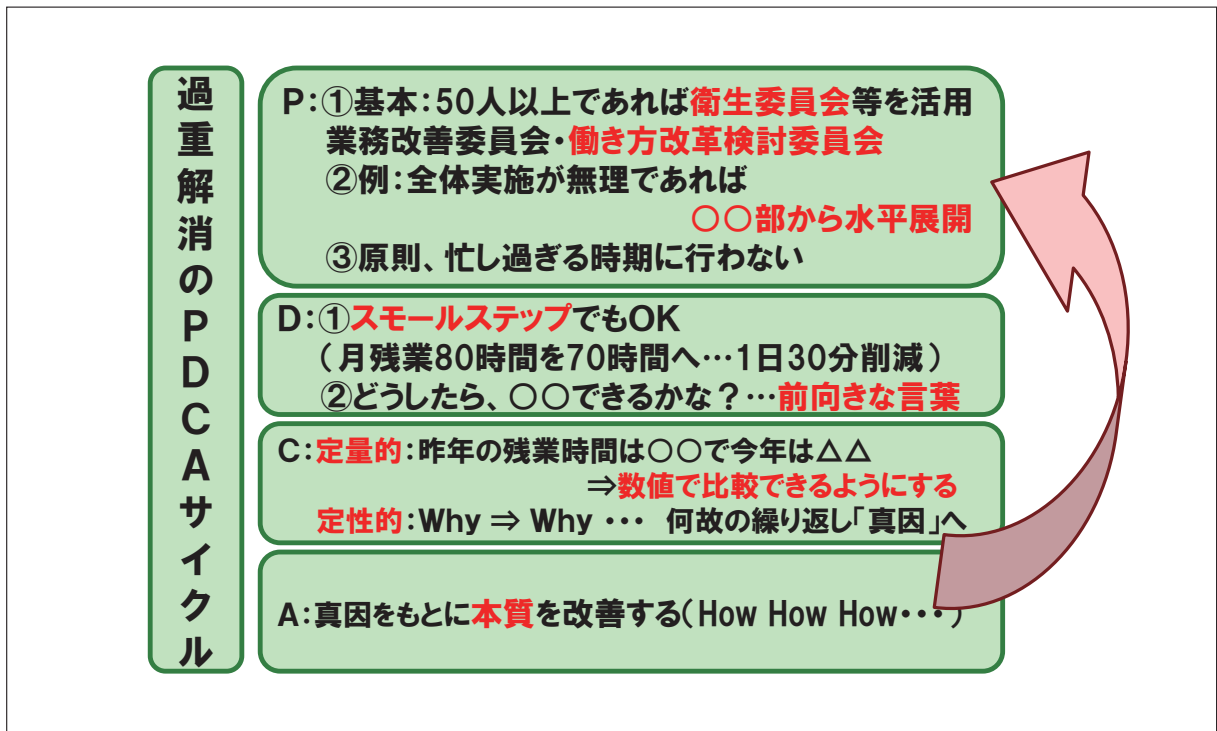
Check(評価)：

- ①目標と現状のギャップは定量的(昨年の残業時間は○時間今年△△時間)に把握する。
- ②①の原因に対し「何故」を何回も繰り返し、本当の原因(真因)を突き止める



Act(改善)：

チェックで「真因」が見えた上で「本質」的な改善策を見つける
以上の点を意識しながら効果的に過重労働の改善に努めましょう。(※③参照)



③働き方改革・過重労働解消のPDCA

なお、過重労働対策推進計画のPDCAサイクルを具体的な文書にすると、手順→役割→内容→記録などが明確になり、計画を推進していく上で効果的です。

さらに、過重労働対策の推進には、事業場で働くすべての人々が過重労働に関する方針と情報を共有し、全員で参加しながら進めていくことが大切です。

■管理者の意識改革を行う

従業員の健康を守るためには、職場の管理者は、時間外労働時間の削減に努めるとともに、先々の見通し(未来の姿)を日頃から職場で共有することが重要です。

ちなみに、連合が2020年6月に行ったテレワークに関する調査では、4月以降のテレワークの状況について、「通常の勤務よりも長時間労働にあることがあった」と半数以上(51.55%)が回答しました。

更に、時間外・休日労働をしたにもかかわらず申告していない回答者が6割超(65.1%)に及んでいます。

この原因は、仕事とプライベートとの切り分けが難しくなったり、入社時と比較して残業に気づきにくくなったりすることが想定されます。

これに対し、管理者を含む事業主には安全配慮義務がありますので、できるだけ長時間労働を引き起こさないよう努めなければなりません。

■残業は事後に認めるものではない

そこで、大切なこととして、時間外労働は管理者が事前に命令するもので、管理者が事後に承認するものではない(勝手に残業をさせない)という理解を徹底する必要があります。

ります。

時間外労働削減のためには、まず管理者が過重労働に対する意識を改革し、時間外労働が過重にならないように配慮することが大切です。

そして、部下の労働時間を正確に把握し時間外労働の削減を目指すことや、過重労働となっている部下への就業配慮を行うことは、管理者の役割として重要なことであると意識しましょう。

■面接指導を実施する

前述した脳・心臓疾患の発症が長時間労働との関連性が強いとする医学的知見を踏まえ、脳・心臓疾患の発症を予防するため、長時間労働により疲労が蓄積した労働者に対し、事業者は医師による面接指導を行わなければならないこととされています。

また、この面接指導の対象とならない労働者についても、脳・心臓疾患発症の予防的観点から、面接指導または面接指導に準じた措置を講ずるよう努める必要があります。なお、常時50人未満の労働者を使用する事業場においても、長時間労働者への面接指導を行う必要があります。

しかし、専門的知識を有する医師がいないなどの理由で、事業者自ら医師を選任し、面接指導を実施することが困難な場合があります。

そのような場合には、「地域産業保健センター」を活用するなどして、面接指導又は面接指導に準ずる必要な措置を講ずるようにしましょう。

副業・兼業を進める上で企業は どんな対応が必要になるのか？

- ・労働者が雇用される形で副業・兼業を行う場合、「労働時間の通算管理」が必要
- ・副業・兼業開始前に、労働者からの申告などにより、必要な情報の確認がポイント

メ リ ツ と 留 意 点	労働者が得られるメリット	労働者側の留意点
	①スキルアップにつながる ②社外の経験を通して、広い視野が身に付く ③主体的なキャリア形成が可能 ④収入が増加する	①長時間労働につながる可能性がある ②労働者自身による就業時間や健康の管理が必要
	企業側のメリット	企業側の留意点
	①優秀な人材の獲得・流出の防止が可能となる ②労働者が社外から新たな知識等を吸収することができる ③働き方の多様化を推進できる	①必要な就業時間の把握・管理や健康管理への対応が必要 ②秘密保持義務をどう確保するか ③職務専念義務、競業禁止義務をどう確保するか

④副業・兼業のメリット・留意点

■通称「パワハラ防止法」が施行

2020年6月に改正労働施策総合推進法が施行され、パワーハラスメントに関する意識が社会的に高まり、事業主が従業員に対して負う責任は非常に大きくなっています。そこで、いじめや嫌がらせが無い職場を作るのは当然のこと、最優先で労働生産性や採用競争力を低下させるなど、悪影響を引き起こすパワーハラスメントの撲滅に取り組んで参りましょう。

【パート3】

政府の働き方改革実行計画のひとつ「副業・兼業」

■「副業・兼業」は働き方改革の一つ

コロナ禍において、最近ではメディアでも「副業・兼業」が大きく取り上げられること多くなりました。一方で政府もこの副業・兼業の推進を図っていますが、この本質や「働き方改革」の大切な柱であることを理解されている方は少なく感じます。

■成長戦略実行計画の中身

令和元年度の成長戦略実行計画では、「副業・兼業」が個人にとって下記3点のメリットがあると政府は捉えています。

- ・所得が増加する
- ・他社での就労経験を積むことでスキルや経験の獲得が可能である
- ・人生100年時代において個人が働き続ける準備が可能となる

また、同成長戦略実行計画では、「副業・兼業」で個人が獲得したスキル・経験が本業企業にフィードバックされることで、本業となる企業にとっても新しいアイデアが生まれ、また起業の促進にもつながり、新たな付加価値が創造されることを期待しています。

■企業の実態は…

政府によって推進されている副業・兼業ですが、「副業・兼業をやりたい」という人は、徐々に増加傾向にあります。しかし、実際に「副業・兼業をしている」という人は伸び悩んでおり、「やりたいのにできていない」という人が増えているという状況となっています。

その理由は「企業側が副業・兼業を許可していない」ということが考えられ、そのような企業の数ある懸念の中でも代表的なものが、「労働時間の管理・把握が困難になるため」という点です。(※④参照)

■副業・兼業の促進に関するガイドライン

こうした企業の懸念に対応するため、令和2年度の成長戦略実行計画において、平成30年1月に出た副業・兼業の促進に関するガイドラインの改定の方向性が示され、これに基づき、厚生労働省での議論を経て策定されたのが、今回の改定版ガイドライン(令和2年9月)です。

なお、今回の改定された副業・兼業の促進に関するガイドラインの主なポイントは、以下の通りです。

- ①副業・兼業先での労働時間通算は維持
- ②通算した結果の法的責任は後から「労働契約を締結し

た]使用者が負う

- ③労働時間が通算されるのは「労働時間規制の適用を受ける労働者」の副業・兼業
- ④労働時間の把握方法は自己申告のみで足り、申告漏れ等の場合には企業に責任はない
- ⑤実労働時間に基づく管理を不要とする「管理モデル」を提示

特に⑤の「管理モデル」における大切な点として、

- ①副業・兼業を行おうとする従業員に対して使用者A(本業先)が管理モデルにより副業・兼業を行うことを求め、従業員及び従業員を通じて使用者B(副業・兼業先)がこれに応じることで導入(使用者Aと使用者Bが直接やり取りすることはない)
- ②使用者A(本業先)、使用者B(副業・兼業先)のそれぞれの1か月の法定外労働時間を合計した時間数が上限規制(単月100時間未満、複数月平均80時間以内)の範囲内において、各々の使用者の事業場における労働時間の上限をそれぞれ設定
- ③使用者A(本業先)は自らの事業場における法定外労働時間の労働について、使用者B(副業・兼業先)は自らの事業場における労働時間の労働について、それぞれ割増賃金を支払う

が上げられます。

この「管理モデル」によって設定された労働時間で働いている限りにおいて、これを前提に割増賃金を支払うなどしていれば、「実労働時間」に基づかなくとも労働基準法を遵守することが可能としているのが特徴です。

詳しくは、令和2年9月に改訂された副業・兼業の促進に関するガイドライン(更に、同年11月には「わかりやすい解説書」が出ております)を是非ご確認ください。

■企業側の留意点と対応策

そこで、企業が副業・兼業に対応するには、以下2点がポイントとなります。

- ①副業・兼業は原則として労働者の自由であることを認識する

政府が推進を図ってきた副業・兼業ですが、企業としては「他社で働く余裕があるなら、自社でもっと働いてほしい」という気持ちもあるでしょう。

しかし、働き方改革より前から、裁判例においては原則として副業・兼業を禁止又は制限することはできないとされています。

例外的に、これを禁止又は制限することができるのは、

- ・副業・兼業により労務提供上の支障が生じる場合
- ・業務上の秘密が漏洩する場合
- ・競業により自社の利益が害される場合
- ・自社の名誉や信用を損なう行為や信頼関係を破壊する行為がある場合

に限られています。

しかも、これらの例外事由は「もしかしたら機密情報が流出するかもしれない…」といった程度では足りず、実際にこれが起こり得る具体的な危険性がない限り、禁止又は制限ができないとされています。

企業においては、まずこの点を認識しておくことが極めて重要と言えるでしょう。

- ②申告や許可制度等の制度整備を行う

副業・兼業は原則として禁止又は制限することができないことからすると、企業は、これを前提として就業規則や副業・兼業規定の準備をしておくことが重要となります。

その際、ポイントとなるのは、副業・兼業の申告、許可制度(事後的な取消しも含む)です。

そこで、副業・兼業の開始時点で、

- ①他の使用者の事業内容
- ②他の使用者の下で従事する業務内容
- ③労働時間の通算の対象となるか否かの確認(業務委託契約であるか労働契約であるか等)
- ④(労働時間通算の対象となる場合には)他の使用者との労働契約の締結日、期間・他の使用者の事業場での所定労働日、所定労働時間、始業・終業時刻、所定外労働の有無、見込み時間数、最大時間数

といった事項を予め申告させることが大切です。

次に、副業・兼業の開始後も、副業・兼業先での労働時間や労働条件の変化、健康状況などを定期的に申告させる仕組みを設けておくとういでしょう。

まとめ

ここまで、働き方改革に何故取り組む必要があるのか? や、過重労働解消のためのポイント、そして、皆様の印刷業界に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス流行による「withコロナ時代における新しい働き方」実現に向けて、大切なポイントを解説致しました。

令和3年10月1日に「新型コロナウイルス感染症・デルタ株流行」における緊急事態宣言が解除されました。

しかし、今後はオミクロン株の流行により、再び最悪のケースが再び起こることを想定した上で経営や労務管理の舵取りを行う状況になるかもしれません。

事業主や従業員の皆様におかれましてはマイナスに見える出来事を飛躍に向けての糧にするとともに、変革にチャレンジしようとする前向きさが求められる時代になりました。

「ピンチはチャンス！」

先が見えず不安が絶えず付きまとう時代だからこそ、この前向きさをもって、withコロナ時代の新しい働き方、そして魅力のある企業や印刷業界を実現して参りましょう。

それ、マンガで説明します! ★★★★★★★★★★

That's "Manga"



【第1話】『DXってな〜に?』

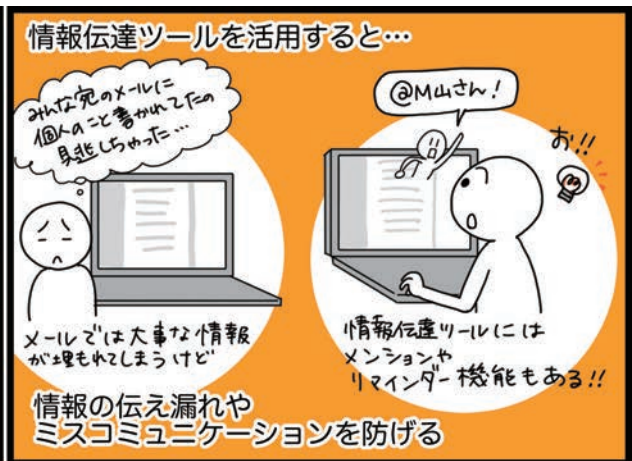
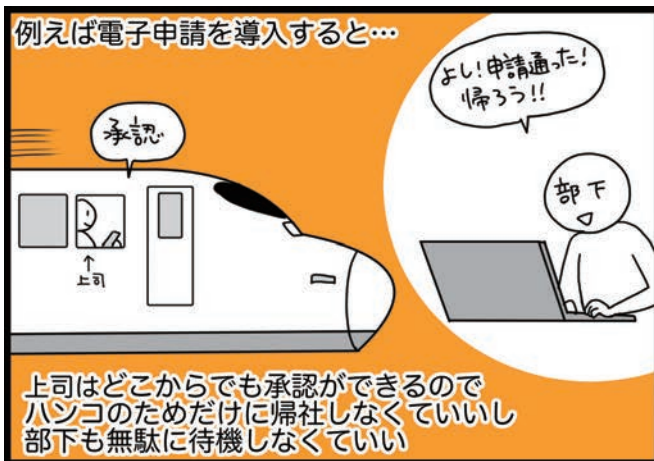
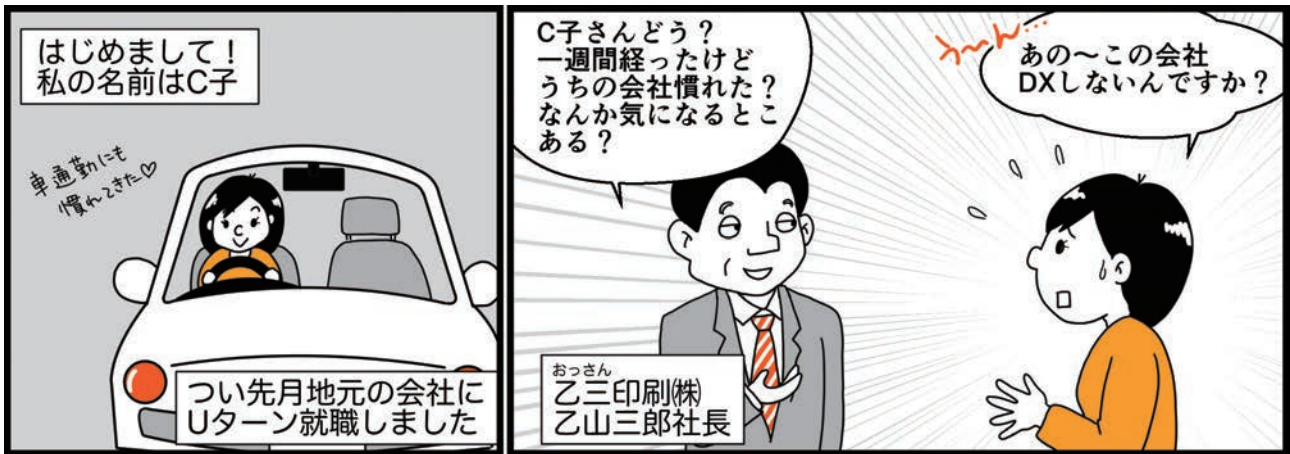
かんべみのり (MBA漫画家・合同会社KAまんが企画代表)

神戸大学法学部卒業 グロービス経営大学院経営研究科卒業・経営学修士

会社員として勤務する傍らイラストレーター業を続ける。グロービス在学中より経営学の学びの漫画図解化に取り組む。現在、経営学の知見を活かし、企業研修漫画や啓蒙漫画を中心に活動している。著書に「驚くほど仕事がかどるITツール活用術(KADOKAWA)」など。兵庫県在住。

ウェブサイト▶ <https://kambeminori.com/>

プロフィール



●DX(デジタルトランスフォーメーション)とは？

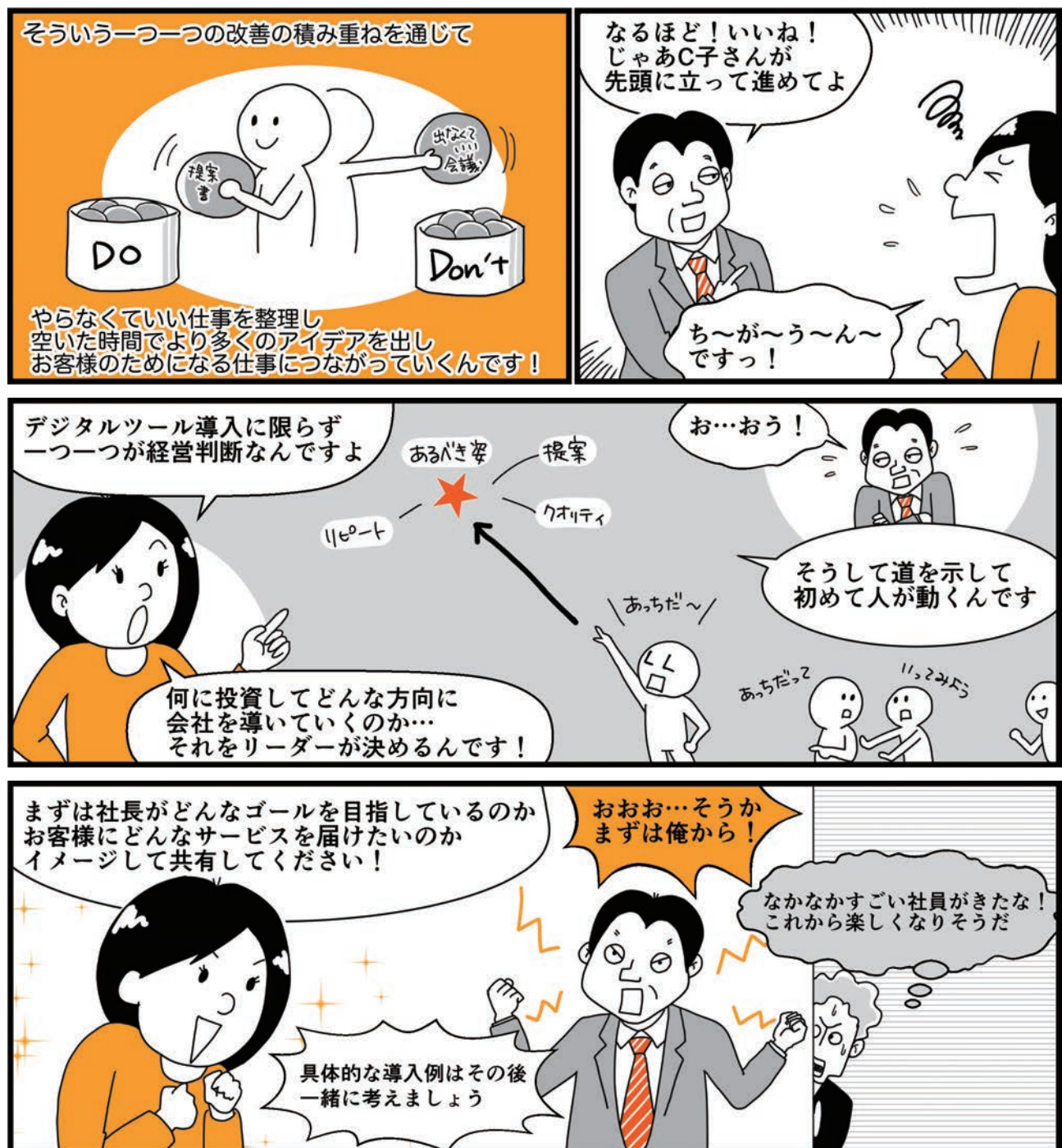
最近よく耳にする「デジタルトランスフォーメーション」という言葉。これは、2004年に提唱された概念で「進化したデジタル技術の浸透により人々の生活を豊かにしていく」ことです。「Trans」を「X」と表記する英語圏の表記に準じて、DXと略されます。

新型コロナウイルスの流行による在宅勤務の推進により、コミュニケーションのデジタル変換が加速しましたが、「イマイチ活用できない」という残念な声も聞こえてきます。一体何が問題なのでしょう？


「DX=デジタルへの変革」と一口に言っても、既存の対面式の会議をオンライン会議にするだけでは不十分です。乱立するツールの中から自社に合った特性のものを導入する必要がありますし、そもそもコミュニケーションルールを全員に浸透させた上での会議という形でなければ、いくらでもサボれてしまいます。デジタルツールはあくまでも手段の一つでしかないのです。

これまで、長年の会社経営の中で秘伝のタレのように伝わる自社だけの強みはきっとあるはず。その強みが何で、それを活かすためにどこまでをデジタルに変えてどこまでをアナログで残すのか、それに伴いオペレーションや人事制度をどう変えていかなければならないか……そういった会社経営すべてに関わる経営判断こそがDXです。

流行りのツールを導入する前に、とりあえず自社の経営戦略をしっかりと固めましょう。そして、皆の協力を得て一丸となって取り組んでいくことが大切です。





明けましておめでとうございます

<p>丸山印刷株式会社</p> <p>代表取締役 丸山 恵右</p> <p>〒676-8566 兵庫県高砂市神爪1丁目11番33号 TEL.(079)432-1511 FAX.(079)432-7046</p>	<p>代表取締役 武部 健也</p>  <p>大和出版印刷株式会社 〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東2-7-2 T 078-857-2355 F 078-857-2377 www.d-wa.co.jp</p>	<p>どちらさまも おめでとうございます</p>  <p>商工印刷株式会社 代表取締役 加藤 真吾 〒651-0094 神戸市中央区琴ノ緒町4丁目5-7 TEL(078)221-1113</p>
<p>富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ(株)</p> <p>執行役員 大阪支社長 前田 弘毅</p> <p>〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3 大阪センタービル5F TEL(06)4704-8401 FAX(06)4704-8411</p>	<p>株式会社 ロータリービジネス</p> <p>代表取締役 渡邊 定道</p> <p>〒561-0841 豊中市名神口1-8-16 Tel(06)6864-8857(代) URL http://www.rotary-grp.co.jp</p>	<p>ミライをツクル</p> <p>Hyoda Communication Company</p> <p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>兵田印刷工業株式会社 ■コンテンツビジネス事業部 ■印刷事業部 TEL.0798-47-3501 www.hyoda.com</p> <p>CSR JBS</p>
<p>小さいからこそ 出せることがあります!!</p> <p>(有)福葉印刷 代表取締役 稲葉達也</p> <p>〒669-6115 豊岡市城崎町来目216-4 Phone.0796-32-2220 Fax.0796-32-3352</p> 	<p>合資会社 角丸印刷所</p> <p>神戸市中央区三宮町3-7-11 電話 (078) 321-2377(代) F A X (078) 332-0590</p>	<p>—高速オフ輪・平版・POD印刷・POP・Display・軟包装制作—</p> <p>大和美術印刷株式会社 DAIWA ART PRINTING CO.,LTD</p> <p>代表取締役 佐々木 賢司 代表取締役 篠田 直宏</p> <p>本社/〒671-1234 姫路市網干区新在家1275番地 TEL(079)273-0125(代) FAX(079)274-2517 URL:http://daiwa-ap.co.jp</p>
<p>デュプロ(株) 神戸支店</p> <p>支店長 小坂 勝</p> <p>〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通4-3-14 TEL(078)579-3800 FAX(078)579-3801</p>	<p>伝票・カーボン印刷・ナンバーリングのことならお任せください</p> <p>有限会社 向カーボン印刷所</p> <p>代表取締役社長 萩原 祥弘</p> <p>〒658-0083 神戸市東灘区魚崎中町2丁目1-4 TEL(078)452-1544 FAX(078)412-0604 info-m@mukai-carbon.co.jp</p>	<p>株式会社 勝田製作所</p> <p>代表取締役 勝田 忠司</p> <p>本社 大阪市城東区鳴野西3丁目3番43号 〒536-0014 電話 (06) 6961-3945番(代表) FAX (06) 6961-7705番 ホームページ http://www.katsuda-works.co.jp E-mail: t.katsuda@katsuda-works.co.jp</p>
<p>ミナトメイワ印刷株式会社</p> <p><input type="checkbox"/> シール・ラベル・ステッカー印刷 <input type="checkbox"/> オフセット印刷・オンデマンド印刷 <input type="checkbox"/> 帳票印刷</p> <p>TEL 078-671-9252 FAX 078-671-9268 https://www.minatomeiwa.jp/</p>	<p>削りカスが出ない</p> <p>エコスクラッチ ECO SCRATCH</p> <p>交友印刷株式会社 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目4-5 TEL.078-303-0088 / FAX.078-303-1320</p>	<p>リコージャパン株式会社 兵庫支社</p> <p>支社長 楠原 正志</p> <p>〒651-0084 神戸市中央区磯辺通1-1-39 TEL(078)232-8501 FAX(078)232-8504</p>
<p>■フォーム印刷 (連続伝票) ■カーボン印刷 ■ナンバー印刷 ■一般事務印刷全般</p> <p>Fujii Printing</p> <p>株式会社 藤井印刷 代表取締役 藤井 貴章</p> <p>〒652-0802 神戸市兵庫区水木通8-3-18 TEL(078)576-0897 FAX(078)577-5951</p>	<p>KAMIX株式会社</p> <p>代表取締役 宗次 健太</p> <p>〒577-0066 大阪府東大阪市高井田本通6-2-10 TEL(06)6785-1036 FAX(06)6785-1039</p>	<p>製本・ナンバー印刷 丁合と同時にクラッシュナンバー</p> <p>株式会社 近本紙工所</p> <p>神戸市兵庫区駅前通3-4-7 電話 (078)671-2994 F A X (078)671-4994 http://www.chikamoto.co.jp/index.html E-mail: info@chikamoto.co.jp</p>
<p>KONICA MINOLTA</p> <p>コニカミノルタ ジャパン株式会社</p> <p>プロフェッショナルプリント事業部 吉田 秀之 西日本営業統括部長</p> <p>〒550-0005 大阪市西区西本町2-3-10 西本町インテスビル 4F TEL.06-6110-0615(代)</p>	<p>富士精版印刷株式会社</p> <p>よしが ふみお 代表取締役社長 吉賀 文雄</p> <p>〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-4-33 電話 (06) 6394-1181(代表) FAX (06) 6394-1199</p>	<p>OHNISHI SEIHAN 大西精版印刷株式会社</p> <p>代表取締役 笹倉 正昭</p> <p>兵庫県加西市北条町北条123 TEL.0790-42-1255 FAX.0790-42-3468</p>

<p>カルトンi株式会社</p> <p>代表取締役社長 高田 康弘</p> <p>〒650-0027 神戸市中央区中町通2丁目1-18 (JR神戸駅NKビル8F) TEL 078-382-1234(代) FAX 078-341-8585</p>	<p>山野印刷株式会社</p> <p>代表取締役 山野 正豊</p> <p>〒670-0982 姫路市岡田479番地 TEL 079-294-2121 FAX 079-295-2336</p>	<p></p> <p>福田印刷工業株式会社</p> <p>代表取締役 椎名 高久</p> <p>〒658-0026 神戸市東灘区魚崎西町4-6-3 TEL (078)811-3131 FAX (078)851-8443 http://www.fukuda-p.co.jp</p>
<p>KOMORI</p> <p>株式会社 小森コーポレーション 西日本支社</p> <p>西日本支社長 河村 浩太郎</p> <p>〒536-0016 大阪市城東区蒲生2-11-3 TEL : 06-6939-3051 FAX : 06-6939-6165</p>	<p>印刷関連薬品・資材・機械・ソフトウェア販売 システム構築コンサルティング・印刷技術サポート</p> <p>ウエノ株式会社</p> <p>代表取締役 上野 靖史</p> <p>大阪市淀川区西中島 7-4-17 新大阪上野東洋ビル TEL: 06 (6301) 1555 FAX: 06 (6301) 1557</p>	<p></p> <p>有限会社 木下印刷所</p> <p>〒653-0037 神戸市長田区大橋町2-1-13 TEL (078) 611-0686 FAX (078) 641-0355</p> <p>情報化時代へのアシスト</p>
<p>(株)スタジオウエル</p> <p>代表取締役 岩崎 裕之</p> <p>〒675-2243 加西市中西町243 電話 (0790)48-2934 FAX (0790)48-4137</p>	<p>株式会社 前田精版印刷</p> <p>代表取締役 前田 太郎</p> <p>本社工場 兵庫県三木市大村1074 〒673-0404 電話 三木 (0794)82-2760 東京営業所</p>	<p>より高い信頼・技術・創造へ…</p> <p> 株式会社 大伸</p> <p>代表取締役社長 石坪 浩一</p> <p>〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通4-1-19 TEL.(078)575-6838 FAX.(078)575-1003 URL http://www.daishin-gr.co.jp</p>
<p> オフィスのこと!まるごと。</p> <p>meikodo</p> <p>株式会社 明光堂 代表取締役 中村 宣史</p> <p>〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通5丁目2番3号 Tel 078-576-6288(代) Fax 078-576-7934 http://www.meikodo.com/ 内装工事仕上業 兵庫県知事(股-29)第117546号</p>	<p>全印工連 CSR ワンスター認定取得しました</p> <p> 船場印刷株式会社</p> <p>代表取締役 藤塚 謙次郎</p> <p>〒670-0994 姫路市定元町4-2 TEL.079-296-3535 FAX.079-297-3155 http://www.senba-p.co.jp</p>	<p> 日宝綜合製本株式会社</p> <p>代表取締役社長 岩坪 誠次郎</p> <p>岡山県岡山市中区今在家 197-1 TEL 086-275-6600 FAX 086-275-6666 http://www.nippoh-bb.co.jp</p>
<p>感謝創業104年</p> <p>株式会社 協和印刷</p> <p>代表取締役 小林 肇</p> <p>たつの市新宮町新宮1064 TEL (0791) 75-0119</p>	<p>株式会社 甲南堂</p> <p>代表取締役 水落 充</p> <p>モードピア 〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目5-1/6F 電話 (078)302-5555(直通) FAX.078-302-5552 電話 (078)302-3011(代表)</p> <p>Labo 〒650-0047 神戸市中央区港島南町4丁目7-9 電話 (078)304-5270(代表) FAX.078-304-5271</p> <p>本社 〒658-0054 神戸市東灘区御影中町1丁目1-8</p>	<p>各種印刷インキ・関連資材</p> <p>大阪印刷インキ製造株式会社</p> <p>本社 ☎ 06-6791-5664 姫路営業所 ☎ 079-253-2205</p>
<p>和洋紙・板紙・紙製品</p> <p> 株式会社 サンヨー</p> <p>代表取締役 正呂 地利樹</p> <p>〒671-0218 姫路市飾東町庄107番1 TEL 079-252-0034 FAX 079-253-0034</p>	<p>株式会社 キングコーポレーション 神戸支店</p> <p>〒653-0031 神戸市長田区西尻池町1-3-10 TEL (078) 611-5400 FAX (078) 611-0098</p>	<p>株式会社 SCREEN GPジャパン</p> <p>大阪支店長 池垣 英司</p> <p>〒550-0011 大阪市西区阿波座2丁目1-1 TEL 06-6531-0333 FAX 06-6531-0343</p>
<p>富士高速印刷株式会社</p> <p>代表取締役 作本 卓也</p> <p>〒679-4232 姫路市林田町上伊勢962-3 Tel.079-261-3338・Fax.079-261-2561</p>	<p>ニッポン印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 森内 健一郎</p> <p>〒650-0012 神戸市中央区北長狭通6-2-15 TEL (078) 371-2161(代) FAX (078) 371-2166</p>	<p>TR AIS FOR GOOD COMMUNICATION http://www.trais.co.jp</p> <p>株式会社 トライス 代表取締役社長 岸 徹</p> <p>〒650-0016 神戸市中央区橘通1丁目1-9 TEL.078-341-2241▲FAX.078-371-3876</p>

明けましておめでとうございます

<p>紙</p> <p>株式会社 光陽社神戸支店</p> <p>〒651-0091 神戸市中央区若菜通2-1-4 TEL (078) 231-5801(代) FAX (078) 231-6986</p>	<p>(有)明輝堂印刷所</p> <p>代表取締役 吉岡正城</p> <p>〒670-0015 姫路市総社本町7 TEL.079-285-1666 FAX.079-285-1667</p>	<p>株式会社 上田洋紙店</p> <p>代表取締役 山崎正則</p> <p>〒651-0094 神戸市中央区琴緒町2-2-7 TEL (078) 231-3212(代) FAX (078) 232-0859</p>
<p>AGFA </p> <p>日本アグファ・ゲバルト株式会社</p> <p>代表取締役社長 岡本勝弘</p> <p>■大阪支社 〒550-0011 大阪市西区阿波座1-9-9 阿波座パークビルB1F TEL. 06-6535-8920 FAX 06-6535-8921 http://www.apogee-users.jp</p>	<p>有限会社 高木印刷所</p> <p>代表取締役 高木克彦</p> <p>〒652-0802 神戸市兵庫区水木通10-1-29 電話 (078) 575-0354(代) F A X (078) 576-7906</p>	<p>森山美術印刷株式会社</p> <p>代表取締役社長 森山重宏</p> <p>〒670-0016 姫路市坂元町60 TEL (079) 225-1336(代) FAX (079) 225-1337 E-mail moriyama.b.p@woody.ocn.ne.jp</p>
<p>ホリゾン・ジャパン株式会社</p> <p>本社 〒101-0031 東京都千代田区東神田2-4-5 東神田堀商ビル5F TEL.03(3863)5361(代) FAX.03(3863)5360</p> <p>東京支社 〒132-8562 東京都江戸川区松江5丁目10-9 TEL.03(3652)7631(代) FAX.03(3652)8083</p> <p>京都支社 〒601-8206 京都市南区久世大蔵町510 TEL.075(933)3060(代) FAX.075(933)4025</p>	<p>下請け大歓迎!!</p> <p> 伝票ドットコム 伝票印刷の専門店</p> <p><input type="text" value="e伝票ドットコム"/> <input type="button" value="検索"/></p>	<p>有限会社 大開印刷</p> <p>代表取締役 藤田信哉</p> <p>〒652-0813 神戸市兵庫区兵庫町1-1-16 電話 (078) 685-0126 F A X (078) 685-0132</p>
<p>三菱電機グループ</p> <p>株式会社 アイプラネット</p> <p>取締役ドキュメント事業本部長 山田博司</p> <p>〒661-0001 尼崎市塚口本町6-12-1 TEL 06-6422-1900(代) FAX 06-6422-1188 http://www.iplanet-inc.com</p>	<p>DICグラフィックス株式会社 特約社 PRINTING MATERIAL/印刷インキ・材料 再生可能エネルギーに関する事業</p> <p>姫路インザイ株式会社</p> <p>代表取締役会長 青田満 代表取締役社長 青田皆樹</p> <p>〒679-2121 姫路市豊富町神谷1320-1 TEL (079) 264-6886(代) FAX (079) 264-6880</p>	<p>塚田印刷株式会社</p> <p>代表取締役 塚田和範</p> <p>〒663-8247 西宮市津門稲荷町11番12号 TEL (0798) 33-4622(代) F A X (0798) 22-2258</p>
<p>芳生グラビア印刷株式会社</p> <p>取締役社長 今井正之</p> <p>〒679-0104 加西市常吉町字東畑922番地-192 TEL 0790-47-8550(代) FAX 0790-47-8566 https://hosei-g.com</p>	<p> 松本カーボン印刷株式会社</p> <p>代表取締役 松本純慈</p> <p>〒661-0961 兵庫県尼崎市戸ノ内町2丁目3番31号 TEL:06-6-6498-2112 FAX:06-6-6498-0558</p>	<p>洋紙・板紙・紙製品</p> <p> 株式会社シメズ</p> <p>代表取締役 清水信治</p> <p>〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台1-4-3 TEL (078) 791-3911(代) FAX (078) 792-8577</p>
<p>長期抗ウイルス・ 脱炭素に貢献!</p> <p>釜谷紙業株式会社</p> <p>加古川本社 電話 (079) 424-2222 姫路事業所 電話 (079) 253-2222 神戸営業所 電話 (078) 671-3333</p>	<p>モリスワ</p> <p>代表取締役社長 森澤彰彦</p> <p>株式会社モリスワ 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel.06-6649-2151 http://www.morisawa.co.jp</p>	<p>ハイデルベルグ・ジャパン株式会社</p> <p>代表取締役社長 ヨルグ・バウアー</p> <p>〒140-8541 東京都品川区東品川3-31-8 TEL(03)5715-7255 FAX(03)5715-7250</p>
<p> Up! rinting</p> <p>ウニスガ印刷株式会社</p> <p>取締役社長 小松原一通</p> <p>〒677-0054 兵庫県西脇市野村町大坪471 TEL.0795-22-3226 FAX.0795-23-6229</p>	<p>内外インキ製造株式会社</p> <p>代表取締役社長 中井万喜</p> <p>〒553-0001 大阪市福島区海老江8-10-1 TEL 06-6458-1161(代) FAX 06-6458-3808 http://naigai-ink.com</p>	<p>Mimaki</p> <p>株式会社 ミマキエンジニアリング</p> <p>神戸営業所</p> <p>〒651-0083 神戸市中央区浜辺通2丁目1-30 三宮国際ビル1F TEL: 078-291-5598 FAX: 078-291-5599</p>

<p>一般古紙引取・機密文書処理 有限会社 松岡商店</p> <p>〒652-0816 神戸市兵庫区永沢町2-5高架79号 TEL 335-6133(代) FAX 945-9822</p>	<p> 紙・封筒と加工 株式会社 成文社</p> <p>〒650-0004 神戸市中央区中山手通7丁目4番6号 TEL 078 (341) 3024 FAX 078 (371) 2563</p>	<p>有限会社 俵製本所</p> <p>代表取締役 俵原 壽夫</p> <p>〒650-0011 神戸市中央区下山手通7-1-31 TEL (078) 341-3977 FAX (078) 341-3981 MAIL tawaraseihonsho@gmail.com</p>
<p>有限会社 神戸須川バインダリー KOBE SUGAWA BINDERY CO. LTD.</p> <p>〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町27-21 TEL(078)411-0721・FAX(078)411-3051 E-mail:kobe-sugawa@sound.ocn.ne.jp</p>	<p>創業 享和元年 (1801)</p> <p>印刷紙・包装紙・板紙・和紙</p> <p>永井産業株式会社</p>	<p>福盛製本所</p> <p>福井 隆司 福井 大輔</p> <p>神戸市兵庫区水木通6丁目4-7 電話神戸 (078) 575-0944 FAX (078) 575-0944</p>
<p>和佳製本工業株式会社</p> <p>代表取締役 越智 光裕</p> <p>〒651-0071 神戸市中央区筒井町1-3-4 TEL (078) 221-2130 FAX (078) 221-2140</p>	<p>ハート株式会社 神戸支店</p> <p>652-0801 神戸市兵庫区中道通1-4-14 TEL 078-576-5531(代表) FAX 078-577-0645 http://www.heart-group.co.jp</p>	<p>白鷺印刷株式会社</p> <p>代表取締役 吉田 賢司</p> <p>〒672-8048 姫路市飾磨区三宅3丁目27 TEL 079-243-1155 FAX 079-243-1156</p>
<p>和紙・洋紙・紙製品卸</p> <p>株式会社 長谷川</p> <p>〒670-0801 姫路市仁豊野453の3 TEL (079) 264-3440(代) FAX (079) 264-3445</p>	<p>光沢加工全般</p> <p>株式会社 金川精巧堂</p> <p>代表取締役 安藝 和行</p> <p>〒651-0079 神戸市中央区東雲通2丁目4番7号 TEL(078)221-6570 FAX(078)242-6571</p>	<p> 都インキ株式会社</p> <p>代表取締役 社長 原田 邦夫</p> <p>本社 〒538-0044 大阪市鶴見区放出東1-7-13 TEL 06-6961-0101 FAX 06-6961-0303 http://www.miyakoink.co.jp/</p>
<p>有限会社 にしん製本所</p> <p>取締役 緋田 義彦</p> <p>〒674-0093 明石市二見町南二見17-17 TEL (078) 943-2415 FAX (078) 943-2551</p>	<p>TOYO INK For a Vibrant World www.toyoink.jp</p> <p>東洋インキ株式会社 取締役 関西支社 支社長 古賀 研介</p> <p>〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-23 中之島ダイヤル24階 Tel:06-6485-8120 Fax:06-6485-8125</p>	<p>株式会社 モトヤ</p> <p>代表取締役社長 古門 慶造</p> <p>〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 TEL (06) 6261-1931 〒670-0932 姫路市下寺町61 TEL (079) 282-0876 〒653-0036 神戸市長田区腕塚町4-1-19 TEL (078) 612-9221</p>
<p>三和印刷株式会社</p> <p>取締役社長 面山 政暉 取締役 黒田 勇</p> <p>〒658-0024 神戸市東灘区魚崎浜町27-21 電話(078)431-3981(代) FAX(078)452-0592</p>	<p></p> <p>代表取締役 江戸 宏介 IEDO HIROSUKE</p> <p>株式会社 エーシーティ AWAJI COMPUTERIZED TYPESETTING 〒656-2151 兵庫県淡路市大町畑584-1 HP:http://www.act-awaji.jp TEL: 0799-62-5534 FAX: 0799-62-5509 E-mail: act@act-awaji.jp</p>	<p>ニシムラ洋紙株式会社</p> <p>代表取締役 山根 一宏</p> <p>〒652-0803 神戸市兵庫区大開通2丁目3-35 TEL (078) 575-8001 FAX (078) 575-8005</p>
<p>株式会社 T&K TOKA 大阪支店</p> <p>〒577-0065 大阪府東大阪市高井田中1-4-10 TEL 06-4308-8860 FAX 06-4308-8870</p>	<p>RMGT リョービMHI グラフィックテクノロジー株式会社</p> <p>代表取締役社長 広川 勝士</p> <p>〒726-0002 広島県府中市鶏飼町800-2 Tel.(0847)40-1600 Fax.(0847)40-1601 http://www.ryobi-group.co.jp/graphic/</p>	<p>兵庫県製本工業組合</p> <p>理事長 蔵本 卓也 役員一同</p> <p>〒652-0884 神戸市兵庫区和田山通1-2-25 神戸市ものづくり工場D棟516階大成バインダリー内 TEL (078) 954-5633 FAX (078) 682-0303</p>

臨時総会開催

～補正予算承認～

兵庫県印刷工業組合の臨時総会が、去る11月29日(月)15時より、神戸市産業振興センターにおいて開催された。

議長選出後、令和3年度補正予算の審議に移り、杉本組織共済委員会委員長より、国の「働き方改革推進支援助成金(団体推進コース)」の交付決定があり、これにより令和3年度の収支予算額を収支ともに6,498,000円を増額する令和3年度補正収支予算書(案)の上程説明があり、議案について慎重に審議され、原案通り承認され、15時15分に閉会した。



『SDGsセミナー』開催のご案内

未来から愛される会社へ

－持続可能な組織づくりとSDGs・ESG経営－

組合では、組合員企業が本質的なSDGs・ESG経営を導入することで、“未来から愛される会社”となり、持続可能な組織(実力発揮型&業績発展型)を目指し、実践していけるように、基礎的理解と全国の中小企業事例を中心にお伝えする標記セミナーを、職場のSDGs研究所の白井 旬氏(2022年2月23日に新刊「経営戦略としてのSDGs・ESG」を発刊予定)を講師にお招きし、開催いたしますので、是非ともご受講ください。

※当日は、同会場にて(株)姫路モトヤ展示会が開催されておりますので、併せてご見学ください。

※コロナウイルス感染症拡大の状況により、実施を延期する場合がございますので、予めご了承のほどお願い申し上げます。

記

[日 時] 令和4年3月3日(木) [14時00分～16時00分]

[講 師] 白井 旬 氏(戦略人事コンサルタント/職場のSDGs研究所 代表)

[内 容] 『持続可能な組織づくりとSDGs・ESG経営』

- ◆ 中小企業のSDGs(持続可能な開発目標)推進ポイント
- ◆ SDGsは、これからの経営における「環境・約束・機能」である
- ◆ 教育から見た「ESD」、金融からみた「ESG」
- ◆ 「働き方改革」×「SDGs・ESG経営」のサイクル
- ◆ ケーススタディで考える中小企業のSDGs推進
- ◆ 持続可能な組織づくりとSDGs・ESG経営とは?
- ◆ SDGsプロジェクトの推進ポイント

[会 場] デザイン・クリエイティブセンター神戸(KIITO)
神戸市中央区小野浜町1-4 TEL.078-325-2201

[受講料] 無料 ※講師新刊書「経営戦略としてのSDGs・ESG」を参考資料として1社1冊のみ無料配布いたします。(2冊目からは、@1,870円税込みで販売いたします。)

[定 員] 50名

☎ 問合せ先は、兵庫県印刷工業組合事務局まで

TEL.078(371)3857

働き方改革 推進支援事業について

11月の臨時総会でご報告いたしましたように、組合は国の「働き方改革推進支援助成金(団体推進コース)」を活用して、現在様々な事業に取り組んでおります。

つきましては、その事業の概要と進捗状況についてご説明いたします。

「働き方推進支援助成金(団体推進コース)」の目的は、事業主団体などが、その傘下の事業主のうち、労働者を雇用する事業主の労働条件の改善のために、時間外労働の削減や賃金引上げに向けた取り組みを実施した場合に支給する助成金です。

支給対象となる事業には、市場調査、新ビジネスモデル開発・実験、労働費用を除くコスト低減実験、セミナーの開催、能率向上に資する共同機器の導入、人材確保に向けた取り組み等々の生産性向上に繋がるものが挙げられています。

また、助成金の支給額は、当組合のような都道府県単位の事業主団体は上限額1千万円で、必要とする経費全てが対象となります。

少子高齢化社会の中では、人材確保とその育成が業界発展のKeyと考えますが、そのためには働き方改革による魅力的な職場づくりとそれを資金面から支える生産性の向上が必要となります。

このたびの助成金は生産性向上に繋がる事業への支援で全額補助のところから申請いたしました。国から、令和3年9月7日付で6,498,000円の交付決定があり、各委員会は現在担当している事業について取り組んでいるところです。組合員の皆様方には、アンケート調査等でご協力いただきありがとうございます。

2月中旬ごろまでに、その成果を順次お伝えする予定です。

.....
なお、取り組んでおります事業の概要は次の通りです。
.....

①セミナーの開催／1回(予算額…257,000円)

働き方改革に繋がるセミナー開催(10月22日開催済み)

②労働条件等の実態調査(予算額…862,000円)

組合員に対して、調査票を送付し、回収後分析を行い、報告書に取りまとめ配布。

③人材確保に向けた取り組み(予算額…3,174,000円)

若年層に印刷業界をアピールする小冊子を印刷・配付するとともに、動画を作成しホームページに掲載。

④共同で利用できるシステム開発(予算額…2,205,000円)

組合員が保有する設備や資材在庫などの情報を共有できるプラットフォームをシステム開発。これにより、迅速な外注先選定と資材在庫の低減に繋げる。

.....

官公需対策委員会からのお知らせ

官公需対策委員会は、官公需取引の円滑な推進を図る活動を行っています。
つきましては、本年度におけるこれまでの活動や関連情報について報告いたします。

神戸市、兵庫県との情報交換会について

[訪問日] 令和3年11月17日(水)

[訪問者] 官公需対策委員 加藤真吾、藤塚謙次郎、早川薫
事務局 梶原博、藤田進

コロナの影響により昨年度は中止となったため、2年ぶりの交換会です。また委員会のメンバーが入れ替わって初めての顔合わせでした。

まず神戸市役所を訪問しました。

対応していただいた方は、神戸市行財政局契約監理課担当係長です。

始めに、当組合からコロナ禍での厳しい印刷業界の現状を報告しました。

続いて、「著作権の取り扱い」について、神戸市の方針や考えをお聞きしました。

基本的には印刷物の著作権は神戸市に帰属することとなっている、との見解です。

当組合と神戸市との主なやり取りは以下の通りです。

組合：印刷物の発注に生データ譲渡や著作権料も含めた合計の価格で落札者を決めるのでは、データや著作権の価格を上乗せすると落札できなくなり、正当な価格を要求できない。過当競争を防止し、業界の振興を図るうえで適切な対応をお願いしたい。

神戸市：データ譲渡や著作権を神戸市に帰属させていただくときには、仕様書にそれを含めた価格を提示するように明記しているので、問題ないと考えている。

組合：印刷物とデータ譲渡費や著作権料を分けて入札するのがむづかしいのであれば、入札金額の内訳としてそれぞれの価格を記入するよう様式の変更ができないか。これにより、コスト意識が高まり、適正価格での競争となる。神戸市としても、データ譲渡費や著作権料が明示されるため、取り込まなくてもよいデータや著作権取得の歯止めになり、その分落札価格が下がるのではないか。

神戸市：参考見積や見積合せを依頼させていただいた場合には、ご提出いただく見積書に内訳を記載していただければと考えている。

組合：このような要望をしているのは、令和3年9月24日に閣議決定された「令和3年度中小企業者に関する国等の契約の基本方針」の中で、「著作権等の知的財産権の発生が含まれる場合には、発注者は当該知的財産権の全部又は一部を譲り受けず受注者に帰属させるコンテンツ版バイ・ドール契約の活用を促進するよう努めるものとする。」という国、地方自治体の基本方針が定められているからです。

神戸市の産業振興と中小印刷企業の育成という視点から、「原則として、著作権は神戸市に帰属する」を「必要なものだけを帰属させる」に改めていただきたい。それがすぐにできないのであれば、まずは、入札価格の内訳にデータ譲渡費と著作権料を明示するようにご検討いただきたい。このようなことを要望して、情報交換会を終了しました。

〈資料〉神戸市の印刷物発注状況

令和3年11月25日現在の印刷業者の登録数：164事業所
過去3年間の契約件数、金額

	発注件数	発注金額
平成30年度	200件	6億 858万3千円
令和元年度	173件	4億9,092万3千円
令和2年度	86件	4億 179万4千円

次に兵庫県庁を訪問しました。

対応していただいた方は、兵庫県出納局管理課副課長兼物品班長と主査のお二人です。

県庁にも、当組合からコロナ禍での厳しい印刷業界の現状を報告しました。

続いて、入札状況について兵庫県から次のような説明がありました。

管理課発注は電子入札を採用しており、印刷の場合、原則3万円～250万円は電子入札で、それを超える金額は一般競争入札となります。

令和2年度の一般競争入札は3件2,093万6千円でした。

電子入札は400件程度6,950万9千円でした。

令和3年10月末の活版・平版の登録数：31事業所、軽印刷の登録数：12事業所です。

著作権については、兵庫県は9年前から知的財産権を尊重した発注をしていただいています。

具体的には、

- 印刷物発注仕様に関する注意点を、職員向け電子掲示板に掲示している。
- その掲示板では、『仕様書で、デザイン・レイアウトを「要」とした場合やイラストを「作成」、写真を「業者準備」とした場合、「著作権は、県に帰属する」と記載できません。』また、『増刷の要件で1社随意契約ができる場合を除き、同じデザイン、イラスト、写真を他に用いることはできません。』と記載している。
- データを求める場合はホームページにアップする案件くらいで、ファイル形式はPDFのみと記載している。
- 同様の印刷物を翌年度に発注する場合、前年業者の印刷物をサンプルとして応札業者に見せることはあっても、使いまわしはできず、新たに制作してもらう。

などです。

最低制限入札価格の導入については、粗悪な印刷物が納品されたことはないので必要ないと考ええる。

入札登録におけるブローカーの扱いについては、保有機器や納入実績を把握し、ふさわしい印刷業者であるか確認している。

当組合から、宛名書きや封入、配送といった印刷に付随する業務も発注内容に加えることができないかご検討をお願いしたいと、要望しました。

今後も情報交換会を継続して実施することを確認して終了しました。

〈資料〉兵庫県の印刷物発注状況

過去3年間の契約件数、金額

• 活版・平版

	発注件数	発注金額
平成30年度	402件	1億 771万6千円
令和元年度	441件	1億6,306万4千円
令和2年度	355件	8,074万8千円

• 軽印刷

	発注件数	発注金額
平成30年度	56件	995万4千円
令和元年度	51件	1,260万5千円
令和2年度	41件	969万7千円

県議会報告の要旨 印刷発注における知的財産権に関する質疑応答

兵庫県会議員 戸井田ゆうすけ氏が12月8日(水)の12月定例会本会議で次の質問をされました。

印刷製造の発注における知的財産権の取り扱いについて、昨年10月に閣議決定された令和2年度の中小企業に関する国等の契約の基本方針では、「著作権等の知的財産権の発生が含まれる場合には、発注者は当該知的財産権の全部または一部を譲り受けず受注者に帰属させる、いわゆるコンテンツ版バイドール契約の活用を促進するよう努めるものとする」と明記されました。

(兵庫県では)、著作権の譲渡の利用範囲、権利範囲など、財産的価値の適正化についてどのように対応しようとお考えでしょうか。

会計管理者 田中氏の回答

官公需行政発注の印刷物の著作権は、納品による所有権とは区別すべきものですが、十分検討されずに一律に行政側に譲渡され、範囲も特定されず、さらに仕様書や契約書で機械的に無償とされることが多い。

そう言うことを受けまして中小企業受注確保法という法律に基づく基本方針の中で、対応が求められているものでございます。本県では、従来から部局作成の仕様書に、表紙や本文等にデザインやレイアウトあるいはイラスト作成など、あるいはそれぞれ写真手配を受注者側に求めるのかどうかということを明記させております。求める場合には、著作権を県に帰属させない。すなわち、業者側にあることを基本としまして、出納局で最終チェックを行っております。同じ受注業者への増刷の場合を除いて、他に用いないようにしているという意味で、ご指摘のコンテンツ版バイドール契約の考え方を取り入れております。

印刷業団体と毎年定期的に意見交換会を行っておりますし、今回新たに多岐にわたる著作権に的を絞った、担当職員研修会も開催することといたしました。中小企業の多い印刷発注面での著作権の丁寧適切な運用について、周知徹底を図ってまいります。

という答弁でした。

兵庫県庁さまには、当組合に対してご配慮いただいた発注をされています。

(文責 兵庫県印刷工業組合事務局)

今後の展望

引き続き重点課題は「知的財産権の保護」です。まずは委員自身が学習理解していきます。今のところ年1回神戸市と兵庫県ですが、印刷会社の知的財産権の価値、権利を尊重していただけるよう、折衝してまいります。官公庁との契約内容で「意に沿わない」「釈然としない」と感じながらも、取り組まれたお仕事はございませんか？どうぞ、事務局へメール、FAXをお送りください。解決に向けて努めてまいります。

日本印刷個人情報保護体制認定制度 (JPPS)の認定を取得

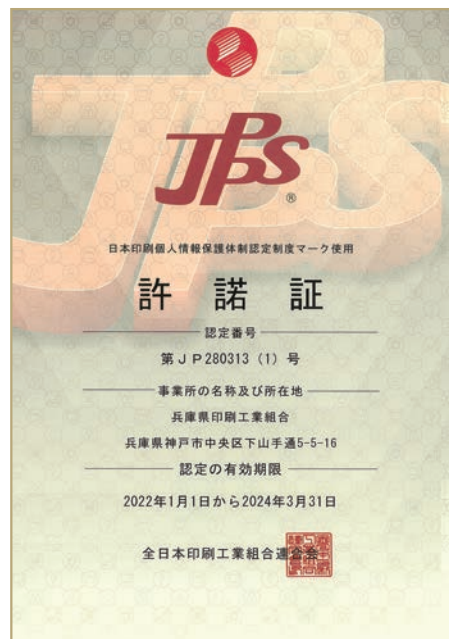


JP280313(1)
個人情報保護体制認定制度
「JPPS」認定

印刷関連業者を対象とした対外的に評価が得られる個人情報保護基準である認定制度。

組合では、多岐にわたる事業展開を図る上で、組合員企業の多くの個人情報を取り扱っている組合ならびに事務局に対し、組合員企業が安心して組合事業に参加していただくことを目的に、JPPSの認定を取得しました。(12月21日開催の審査委員会にて審査の結果、審査基準に合格し認定することが決定。)

これにより、情報保護対策を重要な組合方針として確立された組合であることが証明されました。



受賞の報告

秋の褒章 黄綬褒章



水落 充 氏

〔㈱甲南堂／代表取締役〕

中小企業の能率向上、合理化等の指導に尽力し、功績著名な者として令和3年11月に受章されました。

全日本印刷工業組合連合会表彰 組合功労者顕彰

永年にわたり中小印刷業界の組織強化と、組合員指導・育成等に尽力された組合功労者として令和3年11月に顕彰されました。



柏木 修 氏

〔ダイコウ印刷㈱／代表取締役〕



黒田 勇 氏

〔三和印刷㈱／常務取締役〕

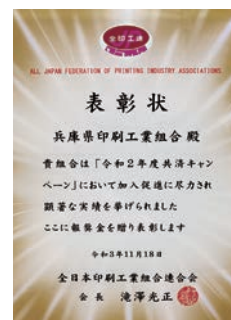


丸毛 博 氏

〔丸毛印刷㈱／代表取締役〕

全日本印刷工業組合連合会 共済キャンペーン表彰 優秀工組

全印工連令和2年度共済キャンペーンにおいて、優秀工組として令和3年11月に表彰されました。





2021年11月12日(金)

「青楠会キャンプ部」始動!

熱く濃い意見交換の出来る場をつくろう!

副会長/高本 周治

しあわせの村“オートキャンプ場”にて開催!

2020年は新型コロナウイルスの影響によりZOOMでの例会開催が当たり前となりました。2021年後半にはリアル開催を再開しましたが懇親会が出来ず、熱く濃い意見交換が出来ませんでした。そうして、青楠会の主な活動がないままにコロナ渦での約1年半が経過してしまいました。

『このままではいかん!』、『青楠会会員が熱く濃い意見交換の出来る場をつくろう!』
『換気の良い場所での交流は?』という水落会長の想いから青楠会キャンプ部を
発足する事となり、2021年11月12日に第1回キャンプを神戸市北区のしあわせ
の村オートキャンプ場にて会員5名(水落、高本、萩原、武部、杉本)参加で開催
しました。



空腹に勝てず食事会を先に…

当日は2名が19時過ぎより先に現地入りし準備に取り掛かり、21時頃に残り3名が合流という流れでしたが、先に現地入りした2名の準備が火起こしまでしか出来ておらず、全員集合時点では空腹に勝てずにバーベキューでの食事会を先に行う事となりました。

食事会ではそれぞれが食材を持ち寄りましたが、何も打ち合せしていないにも関わらず同じ食材を持ってきていない阿吽の呼吸は持ち味が全く違う青楠会を感じました。



真っ暗闇のテント設営

焚火を囲み、火を見ながらの語り合いでは心穏やかに熱く濃い意見交換が出来ました。これは水落会長への思惑通りだったので、第1回キャンプは大成功かと思っていました。



真夜中0時に差し掛かり、周囲でキャンプをしていた人たちも寝静まってきたので、そろそろ我々も寝る準備に取り掛かろうとテント設営を開始しましたが、今回テントを新調した事で設営経験者がいない事と、真っ暗闇での作業という事が重なるという過酷な状況での設営となってしまいました。悪戦苦闘しながらも真夜中2時に何とかテント設営完了し就寝となりました。

第1回「青楠会キャンプ部」無事？ 終了

翌朝は7時頃に起床、誰が仕切らずとも朝食担当とテント解体担当に別れるという連携の良さを発揮して朝食を食べながら昨晚の反省会を行い、後片付けを済ませて第1回キャンプは現地解散という形で終了となりました。

今回は素人ばかりでの第1回キャンプという事で準備段階での不備がたくさんあって過酷な状況もありましたが本当に有意義な時間を過ごさせていただけました。次回は暖かくなってきた頃に第2回キャンプの開催を予定していますので多くの方々にご参加いただければと思います。※次回はテント設営から行いますのでご安心下さい(笑)



印刷機オペレーター座談会開催

教育研修委員会(石坪浩一委員長)では、印刷機オペレーターを対象に、オペレーターの業務に対する悩み解消、オペレーターの知識・技術向上、オペレーター同士の交流を目的とした標記座談会を、ハイデルベルグ・ジャパン(株)、(株)小森コーポレーション、リョービMHIグラフィックテクノロジー(株)のご協力を得て、下記4会場において開催した。

各座談会とも、アドバイザーより、オペレーターの知識向上を目的にご講義いただいた後、事前アンケートをもとに、参加者の技術的な悩み、質問事項についての解説、ならびに座談会形式での活潑な意見交換が行われた。



4月16日金／於:商工印刷(株) 【参加者／5社・6名】

アドバイザー 岩元 雅弘 氏	ハイデルベルグ・ジャパン(株) 西日本フィールドサービス部 マネージャー
-------------------	---

●テーマ……………『マシンコンディションと印刷品質』



7月16日金／於:船場印刷(株) 【参加者／5社・6名】

アドバイザー 岩元 雅弘 氏	ハイデルベルグ・ジャパン(株) 西日本フィールドサービス部 マネージャー
-------------------	---

●テーマ……………『マシンコンディションと印刷品質』



8月20日金／於:交友印刷(株) 【参加者／4社・4名】

アドバイザー 白石 徹 氏	(株)小森コーポレーション マーケティング部 営業企画課
------------------	---------------------------------

●テーマ……………『印刷品質安定化の為に考える事』



11月5日金／福田印刷工業(株) 【参加者／4社・4名】

アドバイザー 中居 哲哉 氏	リョービMHIグラフィックテクノロジー(株) テクニカルサポートセンター
-------------------	---

●テーマ……………『予防保全の考え方と実践』

※座談会実施に際し、商工印刷(株)・船場印刷(株)・交友印刷(株)・福田印刷工業(株)に会場提供等のご協力をいただきました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。



SDGsセミナー開催

組合では、7月19日(月)、兵庫県民会館において、標記セミナーをハイブリッド形式で開催した。(受講者数/30社・47名 内リモート受講16社・24名)

当日は、足立光晴氏(近畿経済産業局 通商部 国際化調整企画官)より、「SDGsをめぐる動き～企業とSDGs～」の

テーマで、SDGsとは、国・地方自治体の動き、SDGsの認知度、SDGsを活かした企業経営、企業は如何にSDGsに取り組むか、企業事例の紹介、関西におけるSDGsの取り組み等について、分かりやすく解説していただいた。

印刷技術者セミナー開催

教育研修委員会(石坪浩一委員長)では、オフセット印刷作業技能検定学科試験のトライアル、また技術者の基礎知識の再点検として標記セミナーを開催した。

- 開催日/8月1日(日) ●会場/兵庫県印刷会館
- 講師/小原和也氏(カルトンi(株) 品質管理室長)
- 内容/《印刷》①印刷製版・②材料・電気・③安全衛生・④平版用製版・⑤校正・⑥オフセット印刷インキ・⑦各種材料
《製版》①光と色の基礎知識・②プロセス製版・③カラーキャナーの基礎知識・④刷版と校正の基礎知識
- 受講者数/6社・7名



印刷業界を知る1日体験会開催

経営革新マーケティング委員会(藤塚謙次郎委員長)

では、兵庫県教育委員会のご協力を得て、兵庫県内工業

高校生を対象に将来の就職先としての印刷業界を知る1日体験会を下記2会場において開催した。

両日とも、大沢昭博氏(日本印刷技術協会 西部支社長)から印刷業界の概要を学び、会社見学及び実習を通して、現業への理解と就業体験が行われた。



8月17日(木)/於:(有)ハタヤ 【参加者/2校・3名】

講師/大沢 昭博 氏 | 日本印刷技術協会 西部支社長

●テーマ.....『印刷業界の概要』



8月30日(日)/山野印刷(株) 【参加者/1校・1名】

講師/大沢 昭博 氏 | 日本印刷技術協会 西部支社長

●テーマ.....『印刷業界の概要』

※体験会実施に際し、(有)ハタヤ・山野印刷(株)に会場提供等のご協力をいただきました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。



前期技能検定 実技試験を実施

教育研修委員会(石坪浩一委員長)では、兵庫県職業能力開発協会の委託を受けて前期技能検定実技試験を実施した。

実施状況

《オフセット印刷作業》[普通紙] 8月21日(土)
●会場/株大伸 ●受検者/1級1名・2級5名

※オフセット印刷作業実技試験の実施に際し、兵庫県洋紙商組合様に試験材料提供のご協力をいただきました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

令和3年度前期技能検定試験(オフセット印刷作業)
合格者発表(順不同・敬称略)

《技能検定合格者・1級技能士》……南 志朗(神戸カムテクノ)
《2級実技試験合格者》……
鳥居 雄一(丸山印刷)・中尾 冬樹(塚田印刷)・篠岡 啓(塚田印刷)

Horizon Smart Factory 2021 バス見学会開催



経営革新マーケティング委員会(藤塚謙次郎委員長)では、(株)ホリゾン本社びわこ工場で開催された標記見学会を10月20日(水)に貸切バス1台(姫路→神戸発)を利用して実施した。(参加者/8社・18名)

当日は、(株)ホリゾンのコロナ感染防止対策に従い、印刷DXセミナー「ヒトなくして印刷DXは語れない!~DXはそもそも何故必要なのか? 誰のために実施するのか?~」の聴講をはじめ、ショールーム見学、ならびに工場見学が行われ、有意義な見学会となりました。

※見学会実施に際し、全面的にご協力をいただきましたホリゾン・ジャパン(株)西日本営業部に紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

働き方改革セミナー開催



環境労務委員会(柳有香委員長)では、兵庫働き方改革推進支援センターの支援事業として、10月22日(金)、兵庫県民会館において、標記セミナーをハイブリッド形式で開催した。(受講者数/26社・36名 内リモート受講7社・12名)

当日は、北井一行氏(働き方改革推進支援センター 派遣専門家・特定社会保険労務士)より、「withコロナ時代の“働き方改革”」のテーマで、なぜ働き方改革や過重労働の解消が必要か、過重労働の現状と企業に与える影響、職場改善対策に必要な知識、事業主に求められる措置、労働安全衛生法に基づくストレスチェック制度、職場におけるパワーハラスメント対策、副業・兼業における基礎的な知識など、今日的な課題に対応し魅力ある職場環境を築くうえで、印刷業界において何を中心に進めていけば業界の発展に資することができるのかを、クイズ形式のゲーム感覚も取り入れてわかりやすく解説していただいた。

紙断裁業務従事者特別教育実施

教育研修委員会(石坪浩一委員長)では、労働安全衛生法第59条3項の定めによる標記特別教育を、(株)勝田製作所のご協力を得て、去る11月18日(木)、KONANDO Laboにおいて開催した。(受講者数/9社・12名)

当日は、梶耕平氏(株)勝田製作所 技術部 設計課 次長)より、法令順守に主眼を置き、紙断裁機作業安全テキストを基に、断裁機の構造と安全装置、断裁作業時の安全、作業前点検、関係法令、断裁技術等について実習を交えて解説していただき、受講者9社・12名には修了証が発行された。



※特別教育実施に際し、(株)甲南堂に会場提供等のご協力をいただきました。紙面を借りて厚くお礼申し上げます。

理 事 会 報 告

7月期定例理事会

●日時…令和3年7月19日(月)(13時00分～14時25分)

●場所…兵庫県民会館「鶴」

出席者(理事21名/監事1名/委任状出席3名) 武部 健也/藤塚 謙次郎/石坪 浩一/杉本 浩康/柳 有香
磯田 弘子/早川 薫/加藤 真吾/佐々木 賢司/宗次 健太/兵田 好雄/椎名 高久/水落 翔/高本 周治/福多 雅英
吉川 一生/宇仁菅 勳/小倉 秀一/橘 謙/稲葉 達也/越智 光裕/高木 克彦

■経過

定刻に至り、司会の梶原事務局長より、出席が定足数(31名)の過半数に達し、理事会の成立が告げられ、武部理事長が議長となって議事に移った。

■「働き方改革推進支援助成金」への取り組みについて

働き方改革推進支援助成金活用事業のプランナーである吉村和也氏(吉村社会保険労務士事務所 代表)より、事業の取り組みについて説明があった。

■一般経過報告及び当面の行事予定について

事務局より、一般経過ならびに今後の日程等が報告された後、武部理事長より、「兵庫県印刷人交流会」開催についての提案があり、異議なく承認された。

■協議事項

(1)各委員会事業の推進について

各委員会委員長より、事業の進捗状況等についての報告があった。

(2)支部体制について

武部理事長より、支部の再編について取り組むことが提言され、先ずは二役会で検討の上、9月期定例理事会での審議依頼があり、異議なく承認された。

(3)新理事の所属委員会について

武部理事長より、椎名理事・組織共済委員会、水落理事・環境労務委員会、橘理事・組織共済委員会への所属が提案され、異議なく承認された。

(4)新型コロナワクチンの職域接種について

事務局より、新型コロナワクチン職域接種の組合での実施についての検討経過が報告された。

■報告事項

(1)組合員の脱退について

事務局より、㈱くとうてん破産による6月末での脱退、田中理事の理事辞任申出について報告があり、異議なく承認された。

(2)印刷会館の管理運営について

事務局より、印刷会館402号室への入居申し込み(公益社団法人 兵庫県シルバー人材センター協会)の報告があった。

(3)その他

武部理事長より、組合ホームページのリニューアルについて説明があった。

事務局より、新規高等学校・特別支援学校卒業予定者の雇用確保について、印刷会館の夏季休館日《8/13(金)～8/16(月)》について報告があった。

以上で全ての議事を終了し、理事会を終えた。



10月期定例理事会

●日時…令和3年10月22日(金) (13時30分～14時30分)

●場所…兵庫県民会館「亀」

出席者(理事22名/委任状出席2名) 武部 健也/藤塚 謙次郎/石坪 浩一/杉本 浩康/柳 有香/水落 充
磯田 弘子/早川 薫/加藤 真吾/佐々木 賢司/宗次 健太/兵田 好雄/柏木 修/水落 翔/高本 周治/中村 実
福多 雅英/吉川 一生/藤尾 計太/小倉 秀一/橘 謙/越智 光裕/萩原 祥弘(オブザーバー出席)

■経過

定刻に至り、司会の梶原事務局長より、出席が定足数(30名)の過半数に達し、理事会の成立が告げられ、武部理事長が議長となって議事に移った。

■一般経過報告及び当面の行事予定について

事務局より、一般経過ならびに今後の日程等が報告された。

■協議事項

(1)「働き方改革推進支援助成金」への取り組みについて

事務局より、助成金交付決定(助成金額6,498,000円)の報告、ならびに取り組み事業内容について説明があり、異議なく承認された。

(2)令和3年度補正予算(案)・臨時総会の招集について

事務局より、令和3年度補正収支予算について、収支ともに6,498,000円の増額、ならびに臨時総会の招集が提案され、異議なく承認された。

(3)各委員会事業の推進について

各委員会委員長より、事業の進捗状況等についての報告があった。

(4)支部再編への取り組みについて

武部理事長より、阪神・東灘・灘支部の統合を各支部の意向も踏まえての推進、播磨・淡路支部の在り方についての検討が提案され、阪神・東灘・灘支部の統合については、阪神支部(宗次支部長・兵田理事)・東灘支部(萩原支部長)の考え方が述べられ、合併を前提に萩原支部長(東灘支部)が中心となり支部間

での調整を図ることが確認された。また、業態ごとでの部会の設置などの提案もあり、今後の検討事項とした。

(5)次期常任役員の選考方法について

武部理事長より、来年度の常任役員候補者選考方法について、公平性があり、かつ選考過程をオープンにするため、前回に引き続き、支部長会メンバーによる常任役員候補者選考委員会構成、理事長候補者の立候補受付け、ならびに常任役員候補者選考内規(案)・スケジュール(案)が提案され、異議なく承認された。

(6)その他

事務局より、印刷会館402号室の公益社団法人 兵庫県シルバー人材センター協会との9/1付でのテナント契約が報告された。

事務局より、印刷会館エレベーターのリニューアルへの取り組みについて報告があり、推進については、二役ならびに組織共済委員会に一任された。

以上で全ての議事を終了し、理事会を終えた。



理 事 会 報 告

11月期定例理事会

- 日時… 令和3年11月29日(月) (15時15分～16時50分)
- 場所… 神戸市産業振興センター『905号室』

出席者(理事18名/監事2名/委任状出席4名) 武部 健也/藤塚 謙次郎/石坪 浩一/杉本 浩康/柳 有香/水落 充
磯田 弘子/早川 薫/加藤 真吾/佐々木 賢司/柏木 修/椎名 高久/高本 周治/福多 雅英/吉川 一生/宇仁菅 勸
稲葉 達也/越智 光裕/黒田 勇/高木 克彦/萩原 祥弘(オブザーバー出席)

■経過

定刻に至り、司会の梶原事務局長より、出席が定足数(30名)の過半数に達し、理事会の成立が告げられ、武部理事長が議長となって議事に移った。

■一般経過報告及び当面の行事予定について

事務局より、一般経過ならびに今後の日程等が報告された。

■協議事項

(1)兵庫県印刷人新年互礼会の開催について

事務局より、当日の行事予定、新年互礼会開催順序等の説明があり、異議なく承認された。

(2)9月末経理状況について(監査報告)

事務局より、9月末経理状況について、約1,600千円の利益計上となる旨の説明があり、異議なく承認され、高木監事より、中間監査について正確であるとの監査報告があった。

(3)令和3年度決算見込みについて

事務局より、令和3年度決算見込みについて、現時点で1,027千円の利益を計上する見込みである旨の説明があり、異議なく承認された。

(4)各委員会事業(働き方改革推進支援助成金事業)の推進について

各委員会委員長より、事業の進捗状況等についての報告があった。

(5)次期役員改選に伴う支部選出理事について

事務局より、事業計画及び予算選定等を円滑に行うために、事

前の支部推薦理事選出、ならびに支部推薦理事選出基準について提案があり、異議なく承認された。

(6)常任役員候補者選考委員会からの報告について

磯田選考委員会委員長より、選考内規第5条に基づき選考委員会で協議の結果、武部健也氏を次期理事長候補者として推薦するとの報告があり、武部氏も受諾され、理事会の満場一致で承認された。

〈次期理事長候補者〉武部健也氏(東灘支部)

(7)その他

事務局より、年末年始の印刷会館休館日を12月29日(水)～1月4日(火)とすることが報告された。

事務局より、印刷会館エレベーターのリニューアルへの取り組みについて、日立ビルシステムを施工業者とする報告があり、推進については、二役ならびに組織共済委員会に一任された。

以上で全ての議事を終了し、理事会を終えた。



1月期定例理事会

●日時… 令和4年1月6日(金) (15時30分～16時15分)

●場所… 神戸ポートピアホテル『トパース』

出席者(理事22名/監事2名/委任状出席6名) 武部 健也/藤塚 謙次郎/石坪 浩一/杉本 浩康/柳 有香/水落 充
磯田 弘子/須川 真祐/加藤 真吾/佐々木 賢司/宗次 健太/柏木 修/椎名 高久/水落 翔/高本 周治/中村 実
福多 雅英/吉川 一生/宇仁菅 勲/橘 謙/稲葉 達也/越智 光裕/黒田 勇/高木 克彦

■経過

定刻に至り、司会の梶原事務局長より、出席が定足数(30名)の過半数に達し、理事会の成立が告げられ、武部理事長が議長となって議事に移った。

■一般経過報告及び当面の行事予定について

事務局より、一般経過ならびに今後の日程等が報告された。

■協議事項

(1)兵庫県印刷人新年互礼会の開催について

事務局より、新年互礼会の運営方法について説明された。

(2)各委員会事業(働き方改革推進支援助成金事業)の推進について

各委員会委員長より、事業の進捗状況についての報告があった。

(3)次期役員改選に伴う支部選出理事の推薦依頼について

事務局より、各支部長に支部推薦理事候補者の選出を要請するとの報告があった。

(4)常任役員候補者選考委員会からの報告について

磯田選考委員会委員長より、次期副理事長候補者について、次のとおり推薦することが報告され、次期副理事長候補者4名も受諾され、理事会の満場一致で承認された。

〈次期副理事長候補者〉

藤塚 謙次郎氏(現副理事長)、石坪 浩一氏(現副理事長)

杉本 浩康氏(現副理事長)、柳 有香氏(現副理事長)

(5)その他

事務局より、設備保有状況検索システム構築事業推進に伴い、設備保有状況登録への協力依頼があった。

事務局より、組合では、多岐にわたる事業展開を図る上で、組合員企業の多くの個人情報を取り扱っている組合ならびに事務局に対し、組合員企業が安心して組合事業に参画していただくことを目的に、JPPS(日本印刷個人情報保護体制認定制度)の認定取得を目指しておりましたが、この度1月1日付けで認定承認され、情報保護対策を重要な方針として確立された組合であることが証明されたとの報告があった。

事務局より、来年の兵庫県印刷人新年互礼会の開催日について、2023年1月6日(金)・於：神戸ポートピアホテルでの開催が提案され、異議なく承認された。

以上で全ての議事を終了し、理事会を終えた。





明けましておめでとうございます



用紙のご相談は私達へ

(株)上田洋紙店

釜谷紙業(株)

(株)光陽社
神戸支店

(株)サンヨー

(株)シミズ

(株)成文社

永井産業(株)

ニシムラ洋紙(株)

(株)長谷川

(五十音順)

兵庫県洋紙商組合

box

導入企業数10万社以上!

クラウドストレージ「box」



- 容量無制限で大容量ファイルの保存・共有ができます
- 災害対策として地理的分散(米国内3か所)でデータを守り、BCP対策や365日無停止を実現
- 自宅や外出先などインターネット環境があればどこでもデータにアクセスでき、テレワークにも対応
- 全アクセスログが取得可能(7年間保持)



すべての校正をオンラインで

Brushup

書籍、冊子、チラシ、イラスト、動画、ウェブデザインなどさまざまな制作物に対して、オンライン上でチェックし、そのまま気になったところを手書きやコメントができるクラウドサービスです。

- これまで対面で行っていた校正紙のやり取りなどもオンライン上で完結するため、自宅や外出先での対応が可能
- 制作物ごとにファイルやコメントが集約され、それまでのやりとりが手に取るようにわかります
- クラウドストレージboxにも対応!!



株式会社 **モトヤ**

姫路 〒670-0932 姫路市下寺町 61 番地 ☎(079)282-0876 (代)
 神戸 〒653-0036 神戸市長田区腕塚町 4-1-19 ☎(078)612-9221 (代)
 大阪 〒542-0081 大阪府中央区南船場 1-10-25 ☎(06)6261-1931 (代)
 ホームページ <http://www.motoyafont.jp/>



リョービMHI
グラフィックテクノロジー株式会社

菊全印刷に新風を



RMGT 970 誕生

新開発のRMGT 970 は、最大紙寸法 650×965 mm。
菊全判用紙やK判用紙に、ジャストサイズです。

西日本支社 〒567-0865 大阪府茨木市横江 2-20-43 TEL 072-655-0182
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

環境にやさしく、『ECO』な時代にふさわしい
削りカスが出ない
エコスクラッチ
 ECO SCRATCH
 エコスクラッチは交友印刷(株)の登録商標です。

アイデアを活かした営業展開を応援します

★エコスクラッチの特長

- 10円硬貨でこするだけで文字や絵が現れ、削りカスが出ません。
- オフセット印刷で、小ロットでも手軽に作成できます。
- ご注文から短納期で納品でき、低価格です。
- 植物油を使用したベジタブルオイルインキで印刷するので、環境に優しい商品です。
- スクラッチ部分の形は自由にデザイン可能です。

“エコスクラッチ印刷”
 ご注文承ります。

お問い合わせは  **交友印刷株式会社** 〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目4-5 ●<https://www.koyu-p.com>
TEL.078-303-0088 / FAX.078-303-1320 / E-mail:info@koyu-p.co.jp

テープ起こしでお困りではありませんか？

シンポジウム 講演会 インタビュー のテキストデータ起こし



速記者派遣もしております → 録音から原稿作成まで一環した作業を行います

 **インターネットを通じて全国からのご依頼にも対応！**
 弊社独自サーバを利用、専用パスワードでデータを送ることができます。どんな遠隔地からでも、インターネットを通じて弊社のサーバへ送れば、すぐに原稿を作成いたします。

 速記・テープ起こし専門会社
株式会社サン・ライティング TEL:078-367-2236 FAX:078-367-2237
 〒650-0015 神戸市中央区多聞通3-3-16甲南第1ビル1101 info@san-w.co.jp <http://www.san-w.co.jp>

デュプロのカッタークリーサなら
小ロットで煩わしい印刷後処理も
断裁 スジ入れ ミシン目も
1パスで解決!!
(1工程)



カッタークリーサ導入によるメリット

名刺作成なら...

30名/分(A4, 2カット+1スジ入れ)

導入前

名刺カッター使用の場合

A4で名刺10枚の丁付け

印刷 A4 10枚

カット 名刺 100枚

多くの名刺カッターはA4までの対応。

カッタークリーサを導入すると...

印刷コストが大幅削減!

A3ノビで名刺21枚の丁付けが可能

印刷 A3ノビ 5枚

カット 名刺 105枚

A3ノビでもカウンターチャージは同額、印刷コストが1/2! さらに、処理スピードは2倍!

カッタークリーサでの加工アイテム例

二つ折りカード/パンフレット

三つ折りパンフレット

クーポン付リーフレット作成なら...

30名/分(A4, 2カット+1スジ入れ)

工程が多い/外注に依頼

印刷機で印刷

断裁機で断裁

ミシン目加工機でミシン目加工

筋押し機でスジ入れ

生産効率が大幅にアップ!

印刷機で印刷

カッタークリーサで断裁・スジ入れ・ミシン目加工

たった1回の通紙ですべての工程が完了します。セット替えも簡単に煩わしい調整もありません。

ミシン加工
もぎりチケット
クーポン付きリーフレット

CDジャケット

テーブルPOP

etc...



デュプロ株式会社 神戸支店
〒652-0804 神戸市兵庫区塚本通 4-3-14 TEL 078-579-3800



モリサワはSDGsに取り組んでいます

モリサワは、創業以来育んできた挑戦心と実直さで社会課題と向き合い、持続可能な開発目標 (SDGs) の活動を支援します。

モリサワUDフォント・MCCatalog+は、お客様のSDGsの取組みに貢献しています

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

8 働きがいも経済成長も

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

15 陸の豊かさも守ろう

17 パートナリーシップで目標を達成しよう

MC Catalog+
多言語ユニバーサル情報発信ツール

モリサワのサステナビリティ活動の詳細は www.morisawa.co.jp/about/sustainability/

株式会社モリサワ 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel:06-6649-2151 www.morisawa.co.jp

理想をカタチにする会社

KYOEI PRINTING CO., LTD.
共栄印刷株式会社

<http://www.kyoeiprinting.jp>

- 本社 〒650-0013 神戸市中央区花隈町22-6
TEL (078)341-0316 FAX (078)341-0323 E-mail: info@kyoeiprinting.jp
- 東京営業所 〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-55 プライム赤坂509
TEL (03)5561-0305 FAX (03)5561-6921 E-mail: tokyo@kyoeiprinting.jp



オリジナルラベル ボトル

販促水

あらゆるシーンに対応可能!!

「おっ」と差のつくオリジナル

「おっ」と差のつくオリジナル

お祝い
イベント
ビジネス

高速オフ輪・UVIJ-DM-POD・デジタル軟包装・シール・ラベル印刷

大和美術印刷株式会社 販促水事業部

納期はデザイン確定後約2週間! データ入稿も承ります。

〒671-1234 兵庫県姫路市網干区新在家1275番地 TEL:079-273-0125(代) FAX:079-274-2517
E-mail:mail@hansokusui.com HP:http://www.hansokusui.com

販促水 検索

販促水®は大和美術印刷株式会社の登録商標です。

KONICA MINOLTA

Less human touch & Less human error

スキルレスオペレーションを実現するプロダクション印刷システム

AccurioPress C3080/C3080P/C3070

※写真はC3080にオプションを装着したものです。

Giving Shape to Ideas

FASHION

コニカミルタ ジャパン株式会社 PPG営業統括部 西日本営業統括部

〒550-0005 大阪市西区西本町2-3-10 西本町インテスビル
TEL.06-6110-0615 <http://konicaminolta.jp/pr/odp>

OSAKA INK

opi

OSAKA PRINTING INK MFG. CO., LTD.

大阪印刷インキ製造株式会社

【本社】〒547-0005 大阪市平野区加美西2-8-31
TEL 06(6791)5664 FAX 06(6794)5203

【姫路営業所】〒671-0223 姫路市別所町北宿字賀茂1136-3
TEL 079(253)2205 FAX 079(253)6670

カーボン印刷 } 専門 長巻輪転印刷機からシートカット
帳票類印刷 }

有限会社 向カーボン印刷所

〒658-0083 神戸市東灘区魚崎中町2丁目1番4号
電話神戸 (078) 452-1544(代)

www.senba-p.co.jp

全印工連CSRワンスター認定取得しました

 船場印刷株式会社

●ご注文・お問い合わせは……フリーダイヤル ☎0120-26-3535
〒670-0994 姫路市定元町4-2 TEL.079-296-3535 FAX.079-297-3155



SCREEN

Digital Everywhere!

デジタル印刷で世界が変わる。SCREENが変える。

株式会社 SCREEN GP ジャパン

大阪支店 / 06(6531)0333 〒550-0011 大阪府大阪市西区阿波座二丁目1-1 大阪本町西第一ビルディング5階



「伝えたい」思いを「伝えたい」人に
最適なカタチで。

 山野印刷 Since 1871年

本社 〒670-0982 姫路市岡田479番地 TEL 079-294-2121
姫路・東京・名古屋・神戸・広島・福岡・広畑工場・幕張 Digital Lab.



株式会社 ミマキエンジニアリング

神戸営業所開設

〒651-0083 兵庫県神戸市中央区浜辺通 2-1-30 三宮国際ビル 1F
TEL : 078-291-5598 FAX : 078-291-5599



Mimaki® www.mimaki.co.jp
テクニカルコールセンター
0120-106-114 (受付時間9:00~18:00
土日・祝日・年末年始は休業中)

LED方式UV硬化フラットベッドインクジェットプリンタ
UJF-6042
UV PRINTER
480 (1200) 万円 A2 size (594mm×425mm)
RasterLink6
選べるUVインク
LED-UV
U6-100 U6-100 U6-200

ショールームもあり、事前予約にてプリンタのテストが可能です。お気軽にお越しください。



認定経営革新等支援機関

会計・税務のことなら

アシストパートナー経営会計事務所

公認会計士・税理士・行政書士 香川 浩祐

〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満5丁目1番9号 大和地所南森町ビル4F3B号室
mobile:090-2538-7284 / TEL:06-4397-3300 / FAX:06-4397-3400
E-mail: kagawakousuke@kagawa-cpa.com



情報をデザインする紙製品のトータルサプライヤー

名刺用紙
私製ハガキ
招待状カード
各種封筒
婚礼用席順カード・席札
カレンダー

賞状・株券
のし紙・荷札
領収書用紙
各種メニュー
辞令用紙

KING

CORPORATION

キングコーポレーション

神戸支店 神戸市長田区西尻池町1-3-10
〒653-0031 電話(078)611-5400
FAX(078)611-0098
本社 名古屋市中区丸の内3丁目7番23号
〒460-0002 電話(052)961-7661(番代)

T&K TOKAは、

「豊かな感性」と「柔軟な発想・思考」で製造された高品質な印刷インキを通し、
皆様と共により良い印刷の創造をめざします。

T&K TOKA

株式会社 T&K TOKA

大阪支店 大阪府東大阪市高井田中1-4-10 〒577-0065
TEL 06-4308-8860
FAX 06-4308-8870

都インキ株式会社

神戸連絡所 TEL (078) 581-8752
本社 大阪市鶴見区放出東1-7-13
〒538-0044 TEL (06) 6961-0101
FAX (06) 6961-0303
東京支店 東京都江東区門前仲町1-2-4
〒135-0048 TEL (03) 3641-5501
FAX (03) 3641-5966

大阪工場 大阪市城東区放出西1-7-5
〒536-0011 TEL (06) 6961-0105
FAX (06) 6961-0575

— 光沢加工全般 —

株式
会社

金川精巧堂

〒651-0079 神戸市中央区東雲通2丁目4番7号
電話神戸 (078) 221-6570 FAX (078) 242-6571

人から人へ 心を伝える ハート紙製品

営業品目

- ・名刺用紙・私製はがき・招待状カード・婚礼用カード・お悔み用カード
- ・長形封筒・角形封筒・洋形封筒・保存袋・大型袋
- ・賞状・株券・領収証・のし紙・接着荷札・コピー用紙・カレンダー



ハート株式会社
神戸支店

652-0801 神戸市兵庫区中道通1-4-14
TEL. 078-576-5531(代) FAX. 078-577-0645
URL / www.heart-group.co.jp

[本社] 540-0019 大阪市中央区和泉町2-1-13
TEL. 06-6942-2322 FAX. 06-6945-1029

[支店] 札幌・仙台・水戸・大宮・東京・中央・新宿
杉並・板橋・浅草・江東・品川・横浜・静岡
名古屋・金沢・京都・神戸・岡山・高松・広島・福岡

組 合 日 誌

- 8月1日 ● 印刷技術者セミナー開催(於:兵庫県印刷会館)
- 8月2日 ● 青楠会例会開催(オンライン会議)
- 8月17日 ● 印刷業界を知る1日体験会開催(於:徇ハタヤ)
- 8月20日 ● 印刷機オペレーター座談会開催(於:交友印刷㈱)
- 8月21日 ● オフセット印刷作業技能検定実技試験実施(於:㈱大伸)
- 8月24日 ● 全印工連教育研修委員会(オンライン会議)
- 8月26日 ● JP2021・印刷DX展開場式(於:インテックス大阪)
- 8月28日 ● 京都青年印刷人月曜会創立50周年記念式典(於:京都ホテルオークラ)
- 8月29日 ● オフセット印刷作業技能検定実技試験後日採点実施(於:兵庫県印刷会館)
- 8月30日 ● 印刷業界を知る1日体験会開催(於:山野印刷㈱)
- 9月13日 ● 二役会開催(於:兵庫県印刷会館)
- 9月18日 ● 全国青年印刷人協議会近畿ブロック協議会(於:大阪印刷会館)
- 10月4日 ● 青楠会例会開催(於:兵庫県印刷会館)
- 10月7日 ● 組織共済委員会開催(於:兵庫県印刷会館)
- 10月7日 ● 全印工連常任役員会(於:KKRホテル東京)
- 10月8日 ● 官公需対策委員会、経営革新マーケティング委員会、資材対策委員会開催(於:兵庫県印刷会館)
- 10月20日 ● [Horizon Smart Factory 2021]Jバス見学会開催(於:㈱ホリゾン本社びわこ工場)
- 10月22日 ● 10月期定例理事会開催(於:兵庫県民会館)
- 10月22日 ● 常任役員候補者選考委員会開催(於:兵庫県民会館)
- 10月22日 ● 働き方改革セミナー開催(於:兵庫県印刷会館)
- 11月1日 ● 青楠会例会開催(於:兵庫県印刷会館)
- 11月2日 ● 全印工連教育研修委員会(オンライン会議)
- 11月5日 ● 印刷機オペレーター座談会開催(於:福田印刷工業㈱)
- 11月8日 ● 二役会開催(於:兵庫県印刷会館)
- 11月8日 ● 中小企業団体情報連絡員会議(於:兵庫県民会館)
- 11月11日 ● 青楠会キャンプ部設立(於:しあわせの村オートキャンプ場)
- 11月12日 ● 青楠会キャンプ部設立(於:しあわせの村オートキャンプ場)
- 11月12日 ● 監事会開催(於:兵庫県印刷会館)
- 11月16日 ● 官公需対策委員会(兵庫県・神戸市)情報交換会開催(於:兵庫県出納局・神戸市行財政局)
- 11月17日 ● 神戸市商工団体総連合会常任理事会(於:神戸市産業振興センター)
- 11月18日 ● 紙断裁業務従事者特別教育開催(於:KONANDO Labo)
- 11月18日 ● 全印工連常任役員会・理事会、全印政連勉強会(於:ホテルブランドアーク半蔵門)
- 11月19日 ● 近畿地区印刷協議会事務局連絡会議(於:大阪印刷会館)
- 11月27日 ● 自民党政経セミナー(於:神戸ポートピアホテル)
- 11月29日 ● 常任役員候補者選考委員会開催(於:神戸市産業振興センター)
- 11月29日 ● 臨時総会開催(於:神戸市産業振興センター)
- 11月29日 ● 11月期定例理事会開催(於:神戸市産業振興センター)
- 11月30日 ● 東灘支部例会(於:燦)
- 12月6日 ● 青楠会例会開催(於:燦)
- 12月13日 ● 神戸市商工団体総連合会意見交換会(於:神戸市産業振興センター)
- 12月16日 ● 「女性の会」発足打ち合わせ会開催(於:馨林)
- 12月26日 ● 兵庫支部例会(於:神戸ポートピアホテル)
- 12月28日 ● 事務局仕事納め
- 1月5日 ● 事務局仕事始め
- 1月6日 ● 新年繁栄祈願祭開催(於:生田神社拜殿)
- 1月6日 ● 常任役員候補者選考委員会開催(於:神戸ポートピアホテル)
- 1月6日 ● 1月期定例理事会開催(於:神戸ポートピアホテル)
- 1月7日 ● 兵庫県印刷人新年互礼会開催(於:神戸ポートピアホテル)
- 1月11日 ● 姫路印刷協同組合新年互礼会(於:姫路キャッスルグランヴィリオホテル)
- 1月15日 ● 大阪府印刷工業組合新年互礼会(於:リーガロイヤルホテル大阪)
- 1月15日 ● 兵庫県製本工業組合新年互礼会(於:神戸ポートピアホテル)

編集後記

誌面リニューアルをした前号にて読者アンケートを実施したところ、回答ゼロという結果になりました(涙)。「答えづらい」「面倒だ」「抽選プレゼントでもあれば…」などなど理由は様々にあるのですが、委員会としてはこの事態を真摯に受け止め、更なるリニューアルに邁進していく所存です。今回は表紙を大胆に変えて、マンガによる時事テーマの解説を加えました。「ひょうご印刷漫遊記(会社紹介、社員紹介)」の企画は、コロナ禍で次号に延期しましたが、「ぜひやりましょう!」というお声もいただいています。これからも進化していく「THAT'S HyoGO!!」をよろしく願います。(組織共済委員長 杉本浩康 記)

●本誌・組合ホームページについてのご意見・ご要望は▶FAX.078-351-4422/E-mail:info@hyoinko.or.jp(組織共済委員会まで)



D 大和出版印刷株式会社 〒658-0031 神戸市東灘区向洋町東2丁目7-2 phone.078-857-2355 大和出版印刷株式会社 Q

印刷に、もっと感動を。

甲南堂のデジタル加飾 『デコレーションタッチ®』

FOIL 【デジタル3D箔】

金や銀の立体的な箔加工により、高級感だけでなく、思わず触れたいくなる質感に仕上がります。

VARNISH 【デジタル3Dニス】

印刷物の表面に透明な樹脂をのせることで、美しいツヤと立体的な質感が生まれます。

株式会社 甲南堂
<https://www.konando.com>

ご見学、お見積りなどお問い合わせはこちらから

甲南堂ラボ

検索

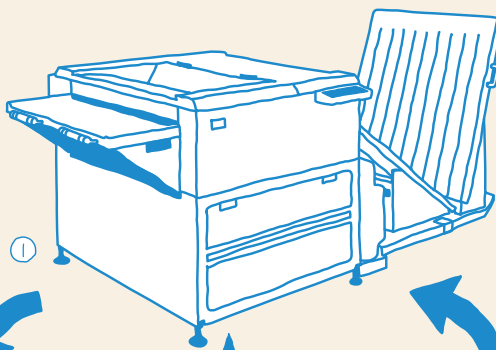
<https://www.konando.com/konando-labo/>

(株)甲南堂のデジタル印刷工場コーナンドーラボは、コニカミノルタとのプリント創造拠点です。

廃液の恩返し。

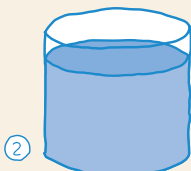
このロングライフ設計の新プロセサーを『XR-2000/5000』『XR-R60』と組み合わせると、処理液の寿命が一気に約2倍*になるんだ。こんなに長生きできるなんて、感謝感謝！

*6ヵ月または30,000ml (XP-1310の場合)



① XP-940R/1310R (自動現像機)

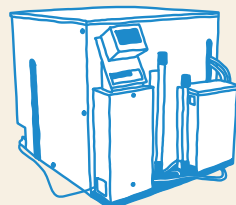
XR-R60のおかげで、きれいさっぱり復活できた。生まれ変わった恩返しに、再び現像液の希釈水として使命をまとうするぞ。それ、新プロセサーの給水タンクに飛び込め～!!



② 現像廃液

Delta Loop [デルタ・ループ]

【廃液循環再生フロー】



⑤ XR-R60 (再生水再利用)



ここで僕たちは「蒸留再生水」と「濃縮廃液」に分離される。廃液は最大1/8(体積比)に小さくなって、お別れ。寂しいけれど、エコのため人のため、モノモノなんかしてられない。



③ XR-2000/5000 (廃液削減装置)

吸引



④ 蒸留再生水

僕たちを、いろんなものの洗浄水などに使ってくれてもいいんだけど、やっぱりもう一度プロセサーに戻って仕事をしたい。そこで、再生水再利用装置XR-R60の登場だ。



さようなら。あとは任せよう～!



焼却



濃縮廃液(約1/8) (産業廃棄物)

どうせ捨てられちゃう運命の僕たちを、救ってくれてありがとう。もう一度生まれ変わってガンバります。



捨てられていく1/8の現像廃液は、きっと安堵しています。「十分に役目を果たせてよかったなあ」と。

残りの蒸留再生水は、きっと希望に燃えています。「これからプロセサーの給水タンクに戻ってまた元気に働けるんだ」と。

こうして廃液を復活させ再び現像処理に役立てる“理想の循環プロセス”を実現するのは、

ECONEX IIの『新プロセサー／廃液削減装置／再生水再利用装置』を組み合わせた、通称『デルタ・ループ』。

『デルタ・ループ』がもたらす環境効果は明快です。

廃液の激減、水の使用量激減、そして処理コストの大幅ダウン。

廃液が喜び、地球が喜び、企業が喜び、「喜びが喜びを呼ぶ」リサイクルの環が、

いま日本中の刷版現場に、ぐるぐると広がっています。

環境対応サーマルCTPシステム [エコネックスII]



富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

大阪支社 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4-1-3大阪センタービル5F 06(4704)8401 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>